MUSASHI

MDC－70

Multi Device Controller

取扱説明書

武蔵株式会社　2014 年 2 月

【改定履歴】

No	発行日	バージョン	内容
1	2013 年 6 月	S1.0	Time Back Data は次回バージョンにてリリース。
2	2013 年 10 月	0090-00-0B	・クリップリスト機能 リリースしました。 ・素材リスト機能 リリースしました。 ・カップリング機能 リリースしました。 ・パラ制御機能 リリースしました。 ・連続再生機能 リリースしました。 ・Time Back Data は次回バージョンにてリリース。
3	2014 年 2 月	0100-01-13	・PREROLL 指定をクリップリスト・プレイリスト毎に設定する事が可能としました。 ・プレイリストのクリップ数 ９９件→300 件 ・GPI 機能 リリースしました。
4			
5			
6			
7			

目次

1. はじめに 5
2. 開梱および確認 5
3. 安全に関する注意 6
4. 概要 7
5. 特徴 7
6. パネル部の名称及び機能 8
7. 背面パネル部の名称及び機能 14
8. 操作画面と機能 17
9. 機能と操作方法 19
   9.1 デバイスステータス画面 20
      9.1.1 PORT 表示部 21
   9.2 Collection 機能 22
   9.3 通常機能 24
      9.3.1 録画の開始と再生 24
      9.3.2 VAR 再生 25
      9.3.3 TC と CTL 指定 25
      9.3.4 PREROLL 指定 26
      9.3.5 GOTO 機能 27
   9.4 クリップリスト機能 28
      9.4.1 クリップの操作概要 30
      9.4.2 クリップの登録操作 31
      9.4.3 クリップの編集 32
      9.4.4 クリップのコピペと削除操作 32
      9.4.5 クリップの呼び出し操作とテンキー機能 33
   9.5 素材リスト機能（マテリアルリスト） 35
      9.5.1 Material 操作概要 36
      9.5.2 素材の呼び出し 37
      9.5.3 素材の削除 37
      9.5.4 収録時のファイル名称について 38
   9.6 カップリング機能 39
      9.6.1 カップリング機能の設定 39
      9.6.2 カップリング機能の操作 39
   9.7 パラ制御機能 40

9.7.1 パラ制御機能の設定 40
9.7.2 パラ制御機能の操作 40
9.7.3 パラ制御の CUE UP 方法 41
9.7.4 パラ制御同期画面 41
9.8 連続再生(プレイリスト)機能 42
9.8.1 プレイリスト画面の説明 42
9.8.2 プレイリストの操作概要 45
9.8.3 連続再生操作 46
9.8.4 プレイリストの登録 50
9.9 VTR 簡易編集機能 51
9.9.1 編集操作 54
9.9.2 編集TCについて 56
9.9.3 編集システム設定 57
9.10 キーアサイン変更機能 59
9.11 GPI 機能 59
9.12 MENU 操作 60
9.13 MENU のバンク設定 60
9.14 バージョンアップ機能 61
10. コネクタ仕様 63
11. 一般仕様 66
12. 通信仕様 67
13. 外観 68

1. はじめに

“MDC-70“をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をお読みください。

また、本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

2. 開梱および確認

本製品は、以下の構成表に示す品物が入っています。

すべての品物が揃っているかご確認下さい。

構成表

品　名	数　量	備　　考
MDC-70	1	
専用ACアダプタ	1	
保証書	1	
取扱説明書	1	

3. 安全に関する注意

安全にご使用いただくために、注意・警告事項を必ずお守りください。

危険

●万一、異常な発熱、発煙、異臭がするなど、異常状態のまま使用すると
火災や感電の原因になります。
ACアダプタをコンセントから抜きサポートにご連絡下さい。

警告

●付属のACアダプタ以外で使用しないで下さい。
火災の原因になります。

●コード類は正しく配置して下さい。
AC アダプタや接続ケーブルは、足にひっかけると本体の落下やケーブルを傷め、火災や感電の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電の恐れがあります。

●水のある場所に設置しないで下さい。
濡れると、火災や感電の原因となることがあります。

●内部に異物を入れないで下さい。
異物が入ると、火災や感電の原因となることがあります。

注意

●AC アダプタを抜くときには、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

●外装を外さない、改造しない
外装を外したり、改造したりすると、感電の原因となることがあります。

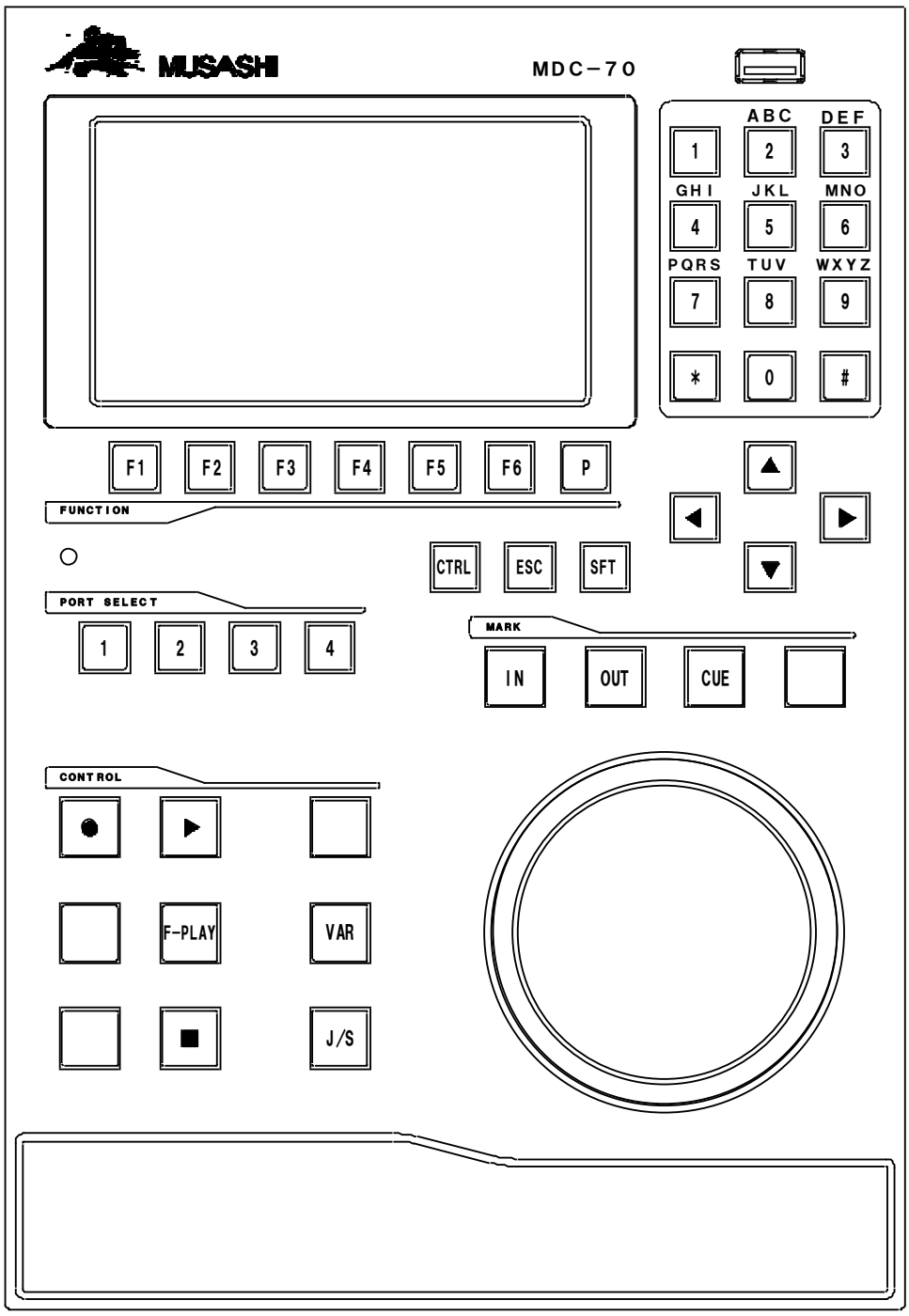
4. 概要

MDC-70 はディスクレコーダ及び VTR のリモートコントロールを行う装置です。
PLAY/STOP/REC/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行います。
制御ポートは4ポート装備しています。
JOG/SHUTTLE ダイアルを備え編集点の確認が容易に行えます。
タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。
液晶表示機によるCUEリスト表示、クリップ表示が可能です。

5. 特徴

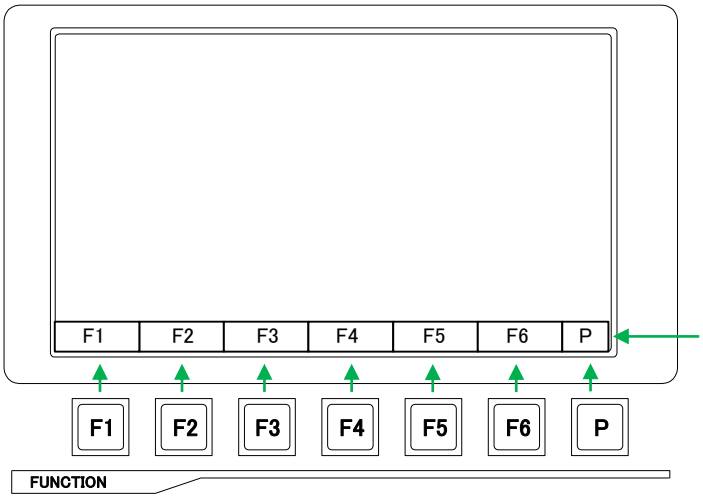
- CUE の登録と CUE UP 操作が可能です。
- 4 ポートまで制御が可能です。
- テンキーによるダイレクトに打ち込み GOTO が可能です。
- 最大 4 ポートまで同時 REC/ PLAY/ CUE UP が可能です。(※調相はしていません。)
- JOG/SHUTTLE ダイアルを備え CUE 点の確認等が容易です。
- GPI を備え外部から PLAY/STOP/REC させることか可能です。
- VTR9ピンプロトコル制御と VDCP プロトコル制御の混在が可能です。
- 2 系統の制御信号での収録制御と再生制御を感覚的に行う事が可能です。
- 対象デバイスの素材制御が可能です。
- 登録した CUE 点を使用しプレイリストの作成が可能です。

6. パネル部の名称及び機能



① 液晶表示部とファンクションボタン

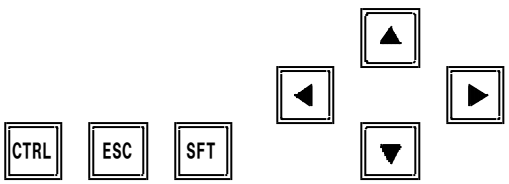
カラー液晶表示機、ステータス画面・マテリアルリスト画面・クリップリスト画面・プレイリスト画面等の各操作に伴い、表示画面が切り替ります。



【ファンクション表示エリア】

P ボタンと F1～F6 ボタンに対応して機能が切り替ります。

② 画面コントロールキー



【上下キー】

ファイルリスト画面・CUEリスト画面等のリストのスクロールに使用します。

【左右キー】

CUE　UP します。

【CTRL キー】

CTRL キーです。

【ESC キー】

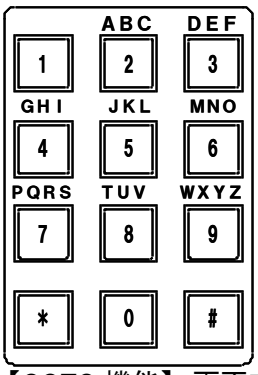
操作をキャンセルします。

各画面で、操作状態が解らなくなった時は、本 SW を押して下さい。

【SFT キー】

シフトキーです。

③　テンキー



テンキーでは下記の機能を行う事が可能です。
CUE 画面中は、下記の機能の切替えが可能です。
切替えは **SFT ＋ ＊** 又は **SFT + テンキー（1・2・3）**
で行います。
また、マテリアルリスト画面・クリップリスト画面・プレイリスト画面中はファンクションの **SetSym** で【クリップのタイトル入力機能】になります。

【GOTO 機能】 画面右上の **T 表示**

TC を指定して CUE UP 行う機能です。
テンキーで TC を入力して**＃キー**で CUE UP します。

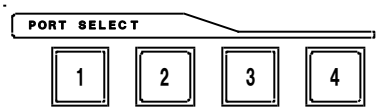
【テンキーCUE 点の登録機能】 画面右上の **S 表示**

CUE 点をテンキーと画面両方に登録する画面です。
ページ切替えは **SFT ＋ テンキー** で行います。

【テンキーCUE 点の登録機能】 画面右上の **L 表示**

CUENo による呼出し機能
テンキーで CueNo を入力して**＃キー**で CUE LIST に飛びます。**左▲キー**で CUE UP します。

④　ポート選択キー

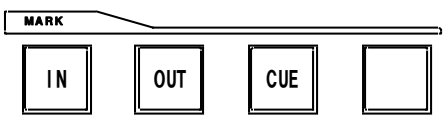


制御ポートの選択に使用します。

【Default】
1～4の SW 選択で切替ります。
複数ポートを同時制御する時は、**SFT+ポート番号（1～4）**で選択可能です。

【Coupling】
複数ポート（1台のビデオ機器の収録ポートと再生ポート）を関連付けて収録や再生を行う画面です。

⑤　マーク キー



クリップリスト画面にて収録中素材、再生素材のCUE点を登録します。

CUE点は、IN点のみの登録、又はIN/OUT 点の登録が可能です。

【INキー・OUT キー】

IN/OUT の CUE 点の登録を行います。

【CUE キー】

CUE の登録を行います。(IN点のみ)

【白キー】

任意に機能が設定可能なボタンです。

＜関連メニュー＞

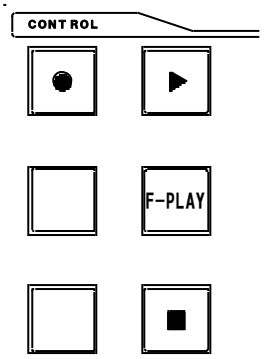
2F0000 $MarkBlankKeyAsn

Blank　:　何もしません。

Search　:　CUE　UP します。

LogIn　:　収録 TC の IN 点を登録します。

⑥　デバイスコントロール キー



【●REC】

REC ＋ PLAY で収録を開始します。

※VDCP 時は自動でクリップ名を発番します。

REC ＋ STOP で収録を停止します。

REC ボタンで EE/PB の切替えを行います。

※VTR 接続時のみ

【PLAY】

選択されているポートが再生します。

【F-PLAY】

・デバイスステータス画面では、カップリング画面使用時は、
自動で追っかけ再生を開始します。

・クリップリスト画面では、クリップの IN～OUT 再生を行います。

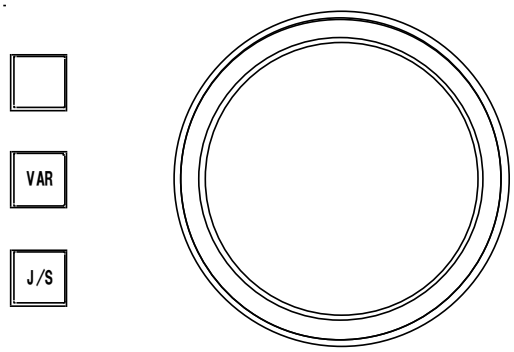
・プレイリスト画面では、クリップの連続再生を行います。”

【STOP】
再生動作を停止します。
VTR 接続時、**SFT + STOP**　STNDBY OFF します。
VTR 接続時、**ポート選択キー + STOP** で EJECT 動作します。

【白キー（上）】
任意に機能が設定可能なボタンです。（STNDBY ON 機能が設定されています）

【白キー（下）】
任意に機能が設定可能なボタンです。（TimeBackData・・・・）

⑦　JOG/SHUTTLE

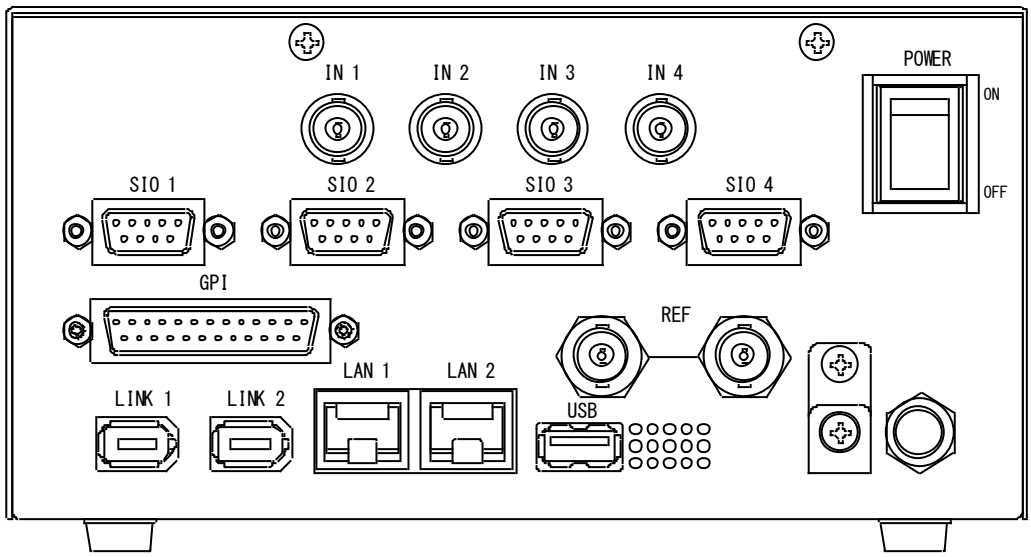


【白キー】
任意に機能が設定可能なボタンです。
（TimeBackData・・・・）
【VAR キー】
－1～1倍速の範囲で再生速度を調整することができます。
【J/S キー】
JOG と SHUTTLE の動作を切り替えます。

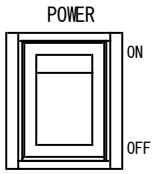
【ダイアル】
JOG 動作と SHUTTLE 動作をおこないます。
また、マテリアルリスト画面・クリップリスト画面・プレイリスト画面中は、SFT + ▲▼でクリップの選択を行う事が可能です。
また、マテリアルリスト画面・クリップリスト画面・プレイリスト画面中は、SFT + ▲▼でクリップの選択を行う事が可能です。
各リスト画面において、”SFT＋▲▼” の押下で一時的にダイアル操作での高速スクロールが可能になります。”

⑧　USB
（TimeBackData・・・）

7. 背面パネル部の名称及び機能



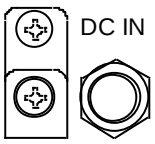
① POWER



電源SWです。

※電源を切断しても CUE 点は覚えています。

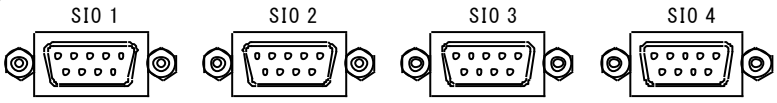
② DC IN



専用 AC アダプタを接続します。

ACアダプタのプラグを差し込み左に回してご使用下さい。

③ SIO1～4

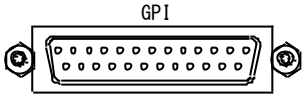


RS-422 制御コネクタです。

VTR 及びディスクレコーダと接続します。

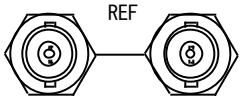
※VDCP で収録しながら再生を行う時は収録ポートと再生ポートへ2本での接続が必要です。

④　GPI



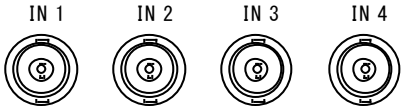
GPI コネクタです。入力　8個／出力　8個の制御をメニュー設定で機能を割り当て使用する事が可能です。

⑤　REF



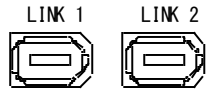
基準ビデオ信号を入力します。
2値SYNC／3値SYNC に対応しています。
NTSC 又は PAL 基準ビデオ信号を入力します。（ループスルー付き）
※基準ビデオ信号を入力しなくても動作しますが、CUE点及び編集点で数 Frame の誤差が生じる可能性があります。

⑥　IN1～IN4



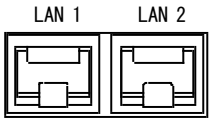
・SIO1～4で制御している映像を入力する事により、CUE 点のサムネイル画像を登録することが可能です。またポート選択ボタンと連動して画像の確認が可能です。
・映像信号は NTSC アナログビデオ信号を入力します。
・映像信号は必ず REF に同期させて下さい。
※映像信号を入力しなくても動作可能です。

⑦　LINK1 / LINK2



システム拡張用コネクタです。弊社製品の機器間相互通信が可能です。

⑧　LAN1 / LAN2



・弊社PCアプリケーションの通信に使用可能です。

・LAN で制御可能なデバイスに対応する予定です。(現在未対応)

・10BaseT/100BaseT

・AutoMDIX 機能を搭載しているのでクロス／ストレート問わず接続可能です。

⑨　USB

・ソフトウェアのバージョンアップが可能です。

・Bank 機能(メニュー設定内容の保存)が可能です。

8. 操作画面と機能

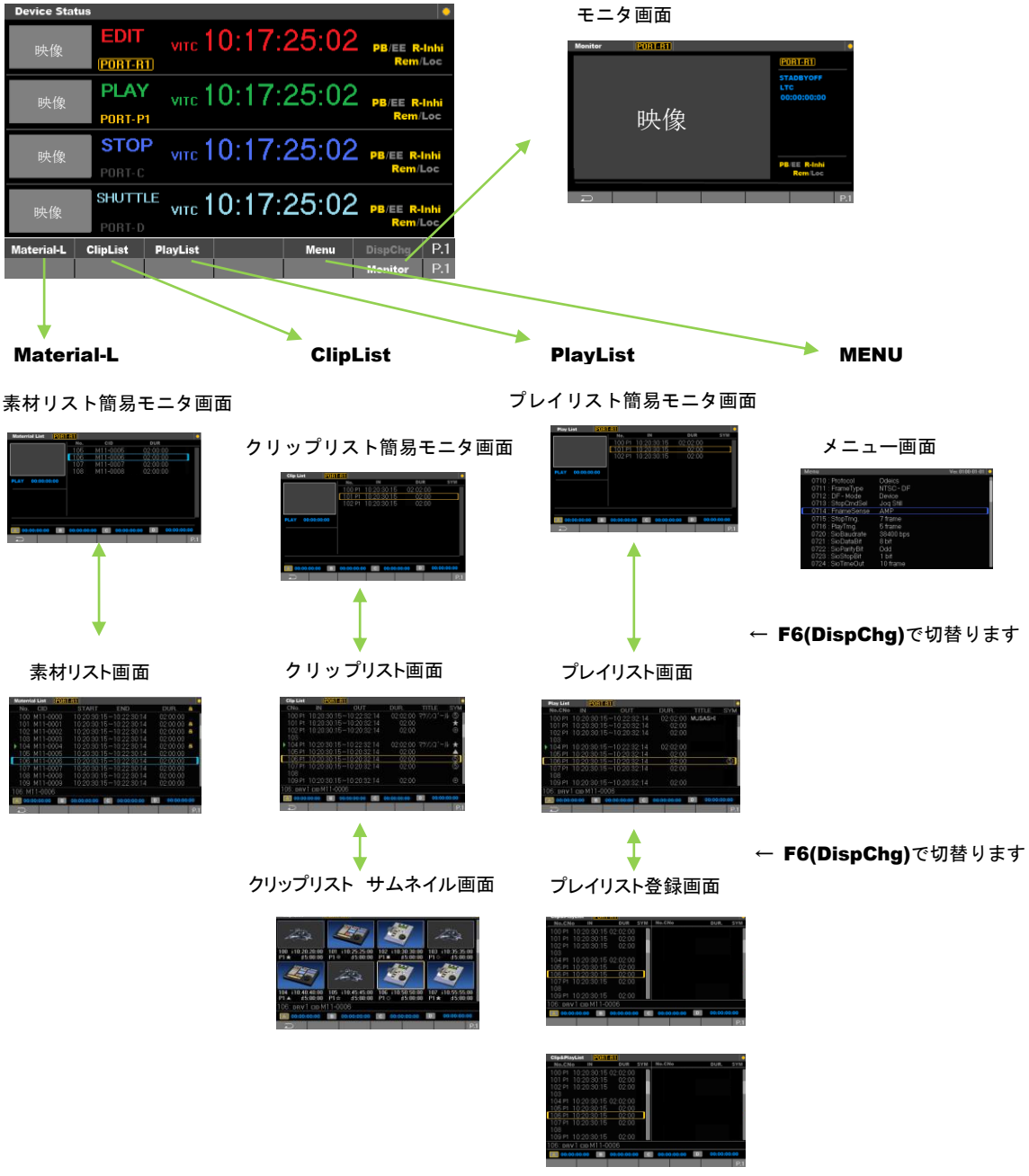
操作画面の下記の機能が装備されています。

画面毎にファンクション表示エリア内の機能が切り替わり、詳細動作を行う事が可能です。

操作画面は、接続対象プロトコルにより変わります。

※VDCP プロトコルのポートを選択した時は簡易編集画面が表示されません。

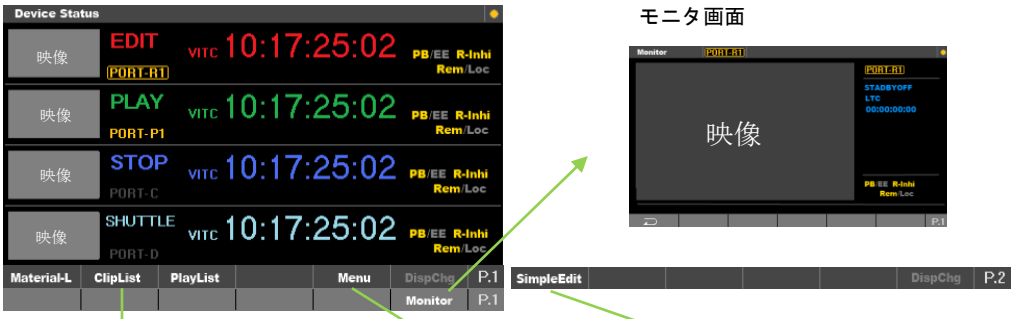
【Disk Recoder 接続時の動作】



【VTR接続時の動作】

VTR プロトコルのポートを選択した時は「Material-L」[PlayList」は選択出来ません。

画面毎にファンクション表示エリア内の機能が切り替わり、詳細動作を行う事が可能です。



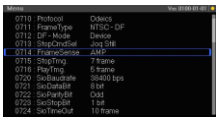
モニタ画面

ClipList

クリップリスト簡易モニタ画面

MENU

メニュー画面



SimplEdit

簡易編集画面

← **F6(DispChg)**で切替

クリップリスト画面

← **F6(DispChg)**で切替

クリップリスト　サムネイル画面

9. 機能と操作方法

MDC-70 では下記の機能が装備されています。

・Collection 機能

プロトコル及び使用方法を簡単に設定する機能です。

・バージョンアップ機能

USB メモリを使用してバージョンアップを行う機能です。

・ディスクレコーダ等の素材情報の取得とリスト表示

マテリアルリスト画面でファイル管理されている機器のクリップ情報の確認が行えます。

※VDCP プロトコル使用時

・ステータス＆素材名の表示

VTR の設定と VDCP の設定で表示内容が異なります。

・GOTO機能

タイムコードをテンキーにて入力し、頭出しをする機能です。

・VAR 再生機能

・PREROLL 機能

・EJECT 機能

・EE 機能

・CUE機能

タイムコードを登録して、頭だしをする機能です。

・カップリング機能

複数の RS422 ポート（収録ポートと再生ポート等）を備えているビデオ機器の収録ポートと再生ポートを関連付けることにより、収録／再生操作（追っかけ再生等）及び CUE リストの閲覧や操作を容易にする機能です。

・パラ制御機能

複数のポートに同時に制御する事が可能です。

・連続再生機能

クリップリストで作成したクリップをプレイリストに並べる事により連続再生する機能です。

※VDCP プロトコル使用時

・簡易編集機能

２台の VTR を使用してアッセンブル編集及びインサート編集を行う事が可能です。

・キーアサインの変更機能

（TimeBackData・・・・）

・GPI機能

メニュー設定により GPI での制御を行う事が可能です。

9.1 デバイスステータス画面

ステータス画面画面です。

【画面タイトル】

機能によりタイトルが変わります。

【バージョン表示】

内部ファームウェアのバージョンです。

【PORT1～4表示部】

SIO1～4の制御に対応しています。

【ファンクション表示エリア】

機能の選択を行います。SFT キー又は P キーで表示を切替て使用します。

【ファイルアクセスランプ】

画面右上の丸印はファイルアクセスランプです。

故障の原因になりますので、ランプが点灯中（黄色）は電源断を避けて下さい。

9.1.1　PORT 表示部

① 名称表示部

メニューの設定に従いポート名称の表示又は、入力映像の表示が可能です。

ポート名称は A/B/C/D/V1/V2/V3/V4/R1/R2/R3/R4/P1/P2/P3/P4 がメニューで選択可能です。

＜関連メニュー＞

02F000 Port1-Symbol / 02F000 Port1-Icon

02F000 Port2-Symbol / 02F000 Port2-Icon

02F000 Port3-Symbol / 02F000 Port3-Icon

02F000 Port4-Symbol / 02F000 Port4-Icon

② ステータス表示部

③ TC/CTL 表示部

④ タイムコード表示部

※対象機器の状態により色が変わります。 STOP（青） PLAY(緑） REC(赤)

⑤ FTC 表示

※VTR プロトコル使用時は表示しません。

⑥ デバイスの状態表示

PB/EE ： 選択状態の時“黄”になります。

R-Inhi ： 収録禁止状態の時“赤”になります。

⑦ REMOTE/LOCAL 表示

VTR の REMOTE/LOCAL 状態を表示します。

⑧ ポート選択表示

ポート選択ボタンに連動して表示します。選択状態の時“黄”になります。

⑨ 素材のファイル名を表示します。

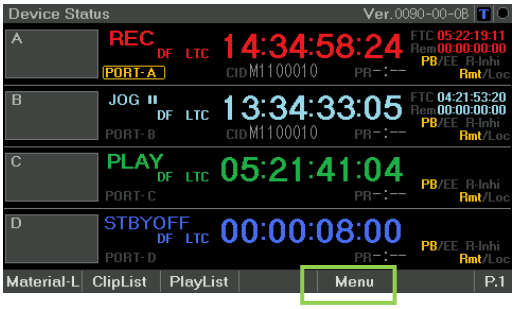
9.2 Collection 機能

Collection 機能とは、使用デバイス及び4ポートの使用方法を設定する機能です。

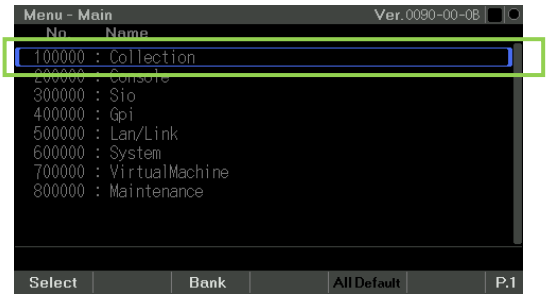
使用前に設定を行って下さい。

出荷時は4ポート VTR で動作する状態で出荷しています。

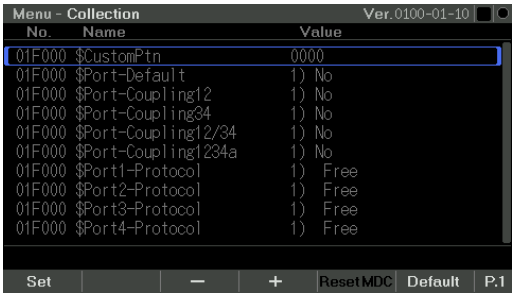
ソフトウェアのバージョンアップにより、対応機種を増やす事が可能です。



F4「Menu」を選択します。



Collection を選択します。



ポートの使用方法と
プロトコルの使用方法を選択して下さい。
左記の設定は VTR4台接続した時です。

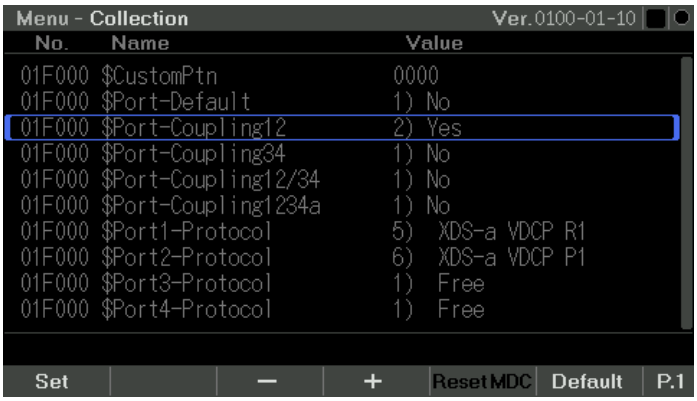
設定は上下▲と＋(F4)－(F3)キーで選択を行い Set(F1)キーで登録を行い。

最後に、ResetMDC(**SFT+F5**)を押すと、再起動がかかり設定されます。

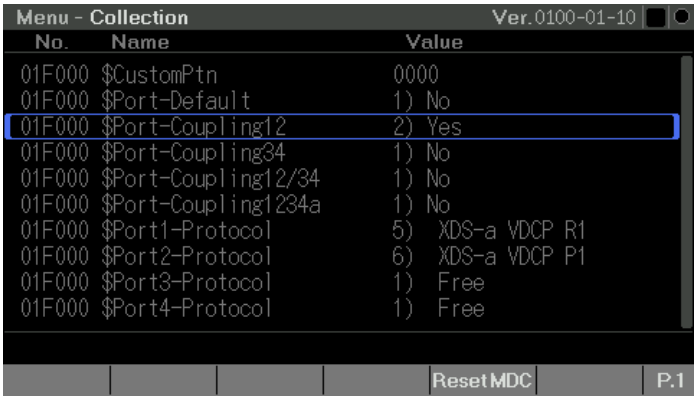
【設定例】

XDCAM Station の INT Disk で収録しながら再生を行う。

（カップリング機能で VDCP プロトコルを使用して制御する場合）



上記設定後、**SFT+F5(ResetMDC)**を行い再起動して下さい。



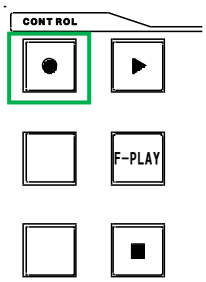
再起動後、プロトコルとポート使用方法の設定が反映されます。

【工場出荷設定（VTR4 台接続設定）】

カップリング画面を解除（VTR 設定）したい時は **AllDefult** を行って下さい。

9.3 通常機能

9.3.1 録画の開始と再生



録画の開始

REC ボタン＋PLAY ボタンを押すと収録を開始します。

・VTR 使用時はクラッシュRECになります。

・ディスクレコーダ等使用時は、ファイルを作成し収録を開始します。収録中は“赤”表示になります。

録画の停止

REC + STOP ボタンを押すと収録を停止します。

再生動作

PLAY ボタンで再生します。

ディスクレコーダ再生動作　通常画面使用時

1) PORT 選択ボタンでポートを選択します。
2) マテリアルリスト画面でファイルを選択し Load ボタン（P2-F1）で読込ます。
3) デバイスステータス画面に戻り、選択したファイルが読み出されている事を確認します。

4) **PLAY ボタン**で再生します。

ディスクレコーダ再生動作　カップリング画面使用時

カップリング画面では収録ポート素材を再生ポートに読出し、
追っかけ再生する事が可能です。
F- PLAY ボタンを押します。
※数秒のディレイ（デバイス依存）後再生が開始します。

9.3.2　VAR 再生

ファンクション表示エリアの **P3** では VAR1/2/3 の再生が可能です。

VAR スピードの設定はメニューで行います。

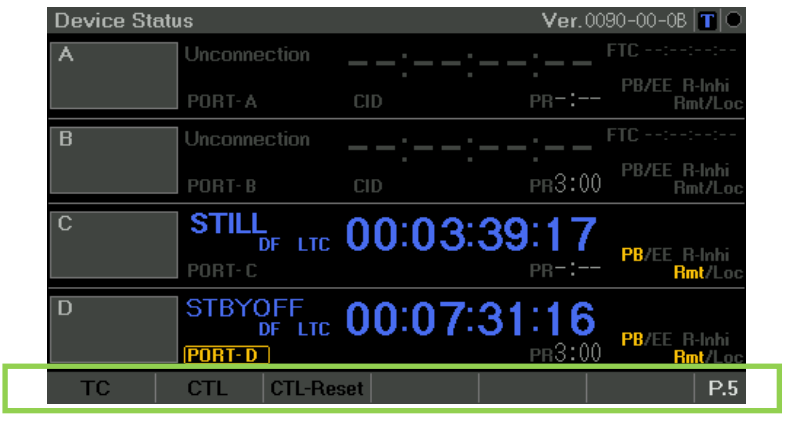
＜関連メニュー　VAR＞

02F000 Preset VAR-1　　100%

02F000 Preset VAR-2　　50%

02F000 Preset VAR-3　　30%

9.3.3　TC と CTL　指定

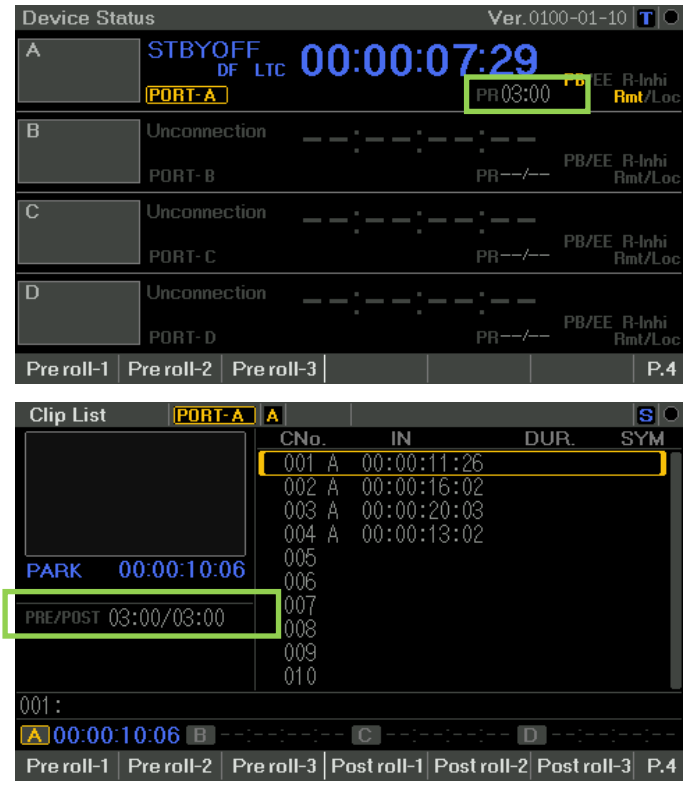


ファンクション表示エリアの **P5** では TC/CTL の切替えが可能です。

SFT＋F1(TC)/F2(CTL)/F3(CTL-Reset)で切替えが可能です。

9.3.4　PREROLL 指定

デバイスステータス画面、クリップリスト画面、プレイリスト画面の各画面において、Preroll や Postroll の選択を行う事が可能です。デバイスステータス画面では、ファンクションP4ページにて Preroll の選択が可能です。クリップリスト画面、プレイリスト画面 では、Preroll と Postroll 値の表示がある簡易モニタ付きリスト画面でファンクションP4ページにて Preroll と Postroll の選択が可能です。



ファンクション表示エリアの **P4** では **Preroll-1 / -2 / -3** で設定が可能です。

F1 / F2 / F3 で ON/OFF が可能です。

PREROLL 無しの CUE UP を行うには、**SFT＋左▲**で CUE UP します。

又 Preroll 値は最大6個まで登録しておく事が可能です。

SFT を押すと **Preroll-4 / -5 / -6** が選択可能です。

＜関連メニュー Preroll＞		＜関連メニュー Postroll＞	
02F000 Preroll-1	03:00	02F000 Postroll-1	03:00
02F000 Preroll-2	05:00	02F000 Postroll-2	05:00
02F000 Preroll-3	07:00	02F000 Postroll-3	07:00
02F000 Preroll-4	10:00	02F000 Postroll-4	10:00
02F000 Preroll-5	20:00	02F000 Postroll-5	20:00
02F000 Preroll-6	30:00	02F000 Postroll-6	30:00

9.3.5　GOTO 機能

タイムコードをテンキーにて入力し CUE UP する機能です。

テンキー部で数字キーを押すと、TC 表示部が GOTO 表示になり TC 入力可能です。

TC 入力後　＃ を押すと CUE UP します。

入力を途中でキャンセルする場合は **ESC** を押して下さい。

9.4 クリップリスト機能

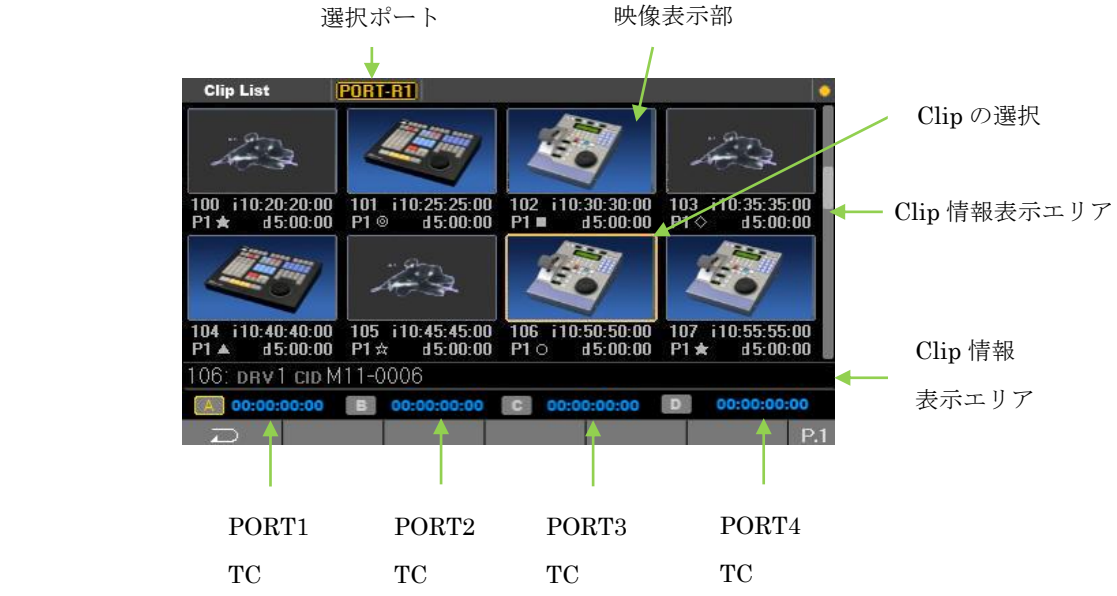
CUE キー及び IN キー/OUT キーを押すと、対象機器のタイムコードをクリップリストに登録して、頭出しを行う事が可能です。タイムコードの登録は、IN 点の登録と IN/OUT 点の登録 2 種が可能です。クリップの表示は3パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの DispChg(F6)で行います。

登録可能数 ： 1ポート(バンク)あたり 999 個

【クリップリスト簡易モニタ画面】

【クリップリスト画面】

【クリップリスト　サムネイル画面】



9.4.1 クリップの操作概要

クリップリスト画面では下記の機能がファンクションエリアを使用して操作する事が可能です。

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	プレイリスト	Add PL	Ins PL		SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L		OvwPL		SetTitle	Monitor
P.2	プレイリスト		Copy	Paste	・・・	DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3					・・・	
P.3 Shift					All Delete	
P.4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

【プレイリスト】 プレイリスト画面に移行します。

【Material-L】 素材リスト簡易モニタ画面に移行します。

【Monitor】 モニタ画面に移行します。

【Add PL】 選択している CUE 点を PLAY LIST の最後に追加登録します。

【Ins PL】 選択している CUE 点をプレイリストに挿入登録します。

【Ovw PL】 選択している CUE 点をプレイリストに上書き登録します。

【Set Sym】 SYM 欄に〇▲★等のシンボルを入れる事が出来ます。

【Set Title】 TITLE 欄に英数カナ文字を入れる事が出来ます。

【DispChg】 画面表示を切替ます。

【Copy】 クリップをコピーします。

【Paste】 クリップをペーストします。

【Delete】 クリップを削除します。

※削除されたクリップ 1 個は内部メモリに保持されている為、Paste 操作で戻す事が可能です。

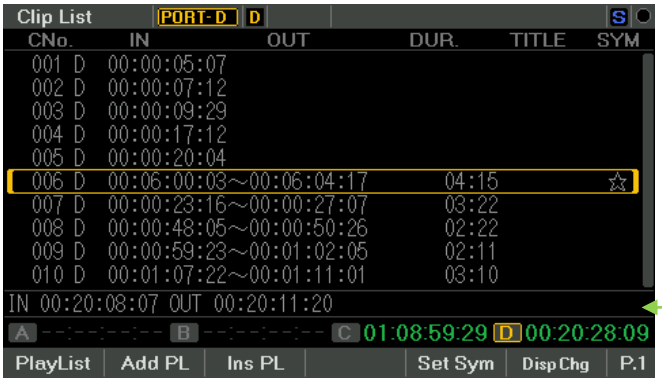
【All Delete】 全てのクリップを削除します。

【Preroll-*】 Preroll 値を SET します。

【Postroll-*】 Postroll 値を SET します。

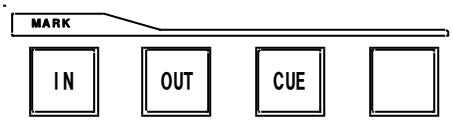
9.4.2 クリップの登録操作

CUE 点は、IN/OUT 点登録と IN 点登録を混在して登録する事が可能です。



Clip 情報
表示エリア

MARK エリア



IN/OUT はクリップ情報表示エリアに入り **CUE ボタン**で登録されます。

CUE ボタンのみ押すと **IN 点**として登録されます。

CUE 点の登録は未登録部分に登録する **SEARCH 機能**と選択した場所から上書登録する **OveWrite 機能**がメニューで選択可能です。

＜関連メニュー＞

2F0000　クリップリスト-SetMode

SEARCH　：　未登録部に登録していきます。

OverWrite　：　選択位置より上書登録します。

CUE の登録速度

CUE 点の連続登録速度は、サムネイル画像を取得するか否かで変わります。

サムネイル画像取得を行うと1秒程度登録に時間がかかります。

サムネイル画像の取得を行わない時は数 FRAME で登録が可能です。

＜関連メニュー＞

2F0000　ThumbnailCapture

Disable　：　サムネイル画像の取得を行わない。

Enable　：　サムネイル画像を取得する。

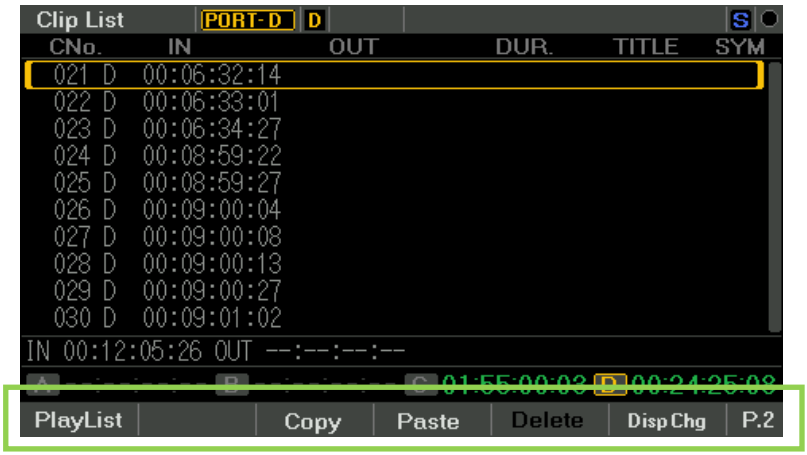
9.4.3 クリップの編集

登録したクリップ点は編集を行う事が可能です。

編集を行いたいクリップの頭出しを行い JOG ダイアル等で再登録点を選択し

SFT + IN　又は　**SFT + OUT**　で再登録する事が可能です。

9.4.4 クリップのコピペと削除操作



クリップのコピペ

登録したクリップはコピペする事が可能です。

例えば、021 番のクリップを 090 番の位置にコピーする場合。

① 021 番クリップの選択位置で **Copy** を押す。

② 上下カーソルキー等で 090 番の位置に移動する。

③ 090 番の位置で **Paste** を押すことでコピーされます。

※以降、IN／OUT／CUE ボタンによる CUE 点登録を再開する場合は、

選択カーソルを登録したい位置に戻して下さい。

※クリップは選択カーソル位置に上書きされます。

クリップの削除

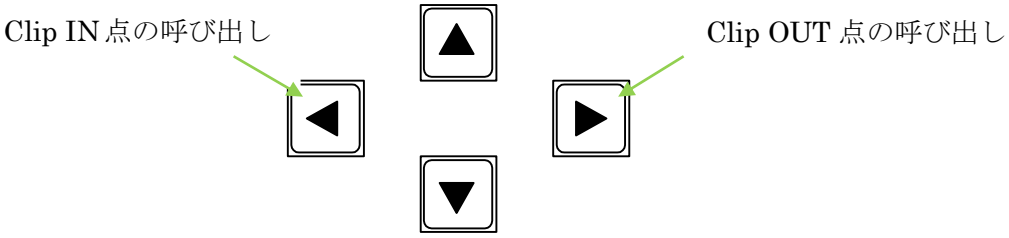
登録したクリップの削除は、**SFT+Delete** で行います。

※削除したクリップ 1 個は内部バッファに保存していますので、**Paste** で使用可能です。

クリップの全削除

登録したクリップの削除は、**P3** ページへ移動して **SFT+All Delete** で行います。

9.4.5 クリップの呼び出し操作とテンキー機能



上下▲はクリップの選択です。

SFT+上下▲S の押下で一時的にダイアルでの高速スクロールモードになります。

※他のキー操作を行うとモードは解除されます。

Preroll付き CUE UP

各ポートには Preroll 値を設定する事が可能です。

Preroll 値を含めない CUE UP は **SFT + 左矢印キー** で呼出しが可能です。

CUE の呼び出し S モード

クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能Sはクリップリストとテンキーが連動した画面になります。

（ **SFT+＊** 又は **＊+1.2.3** ）で画面切替え可能です。

テンキーの数字は CNo の最後の桁になりテンキーで CUE UP 可能です。

※テンキーでの CUE UP 時 Preroll 値は反映されません。

クリップリストの CNo 000～009 までをテンキーページの0に、

C010～019 までをテンキーページの1に割り付けます。

ページの切替えは、**SFT＋テンキー数字**で行います。

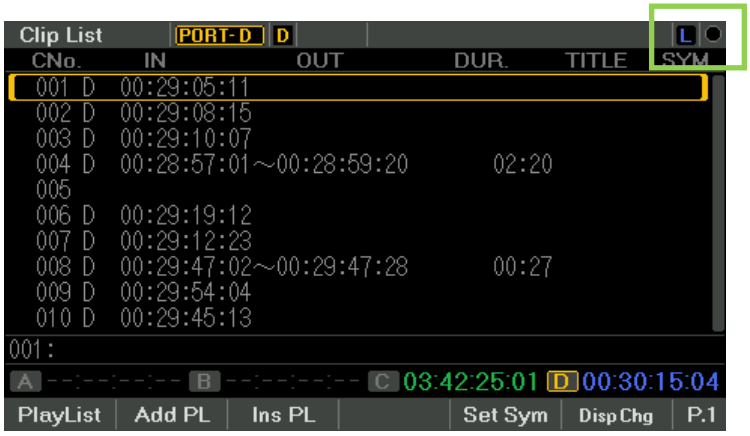
※テンキー割り当ての機能は 99 までですが、999 まで CUE 点の登録は可能です。

CUE の呼び出し L モード

クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能　Lは CNo で CUE 点を呼び出す画面になります。

（**SFT+＊又は＊+2**）で画面切替え可能です。



1～999までの数字を入力し#を押すと、登録したCUE点に移動します。

その後左右▲で CUE UP を行います。

＜関連メニュー＞

2F0000　AtCup-SetClp-Clist

Enable　：CUE 登録時 CUE UP 動作を行います。

2F0000　AtCup-CsrMov-Clist

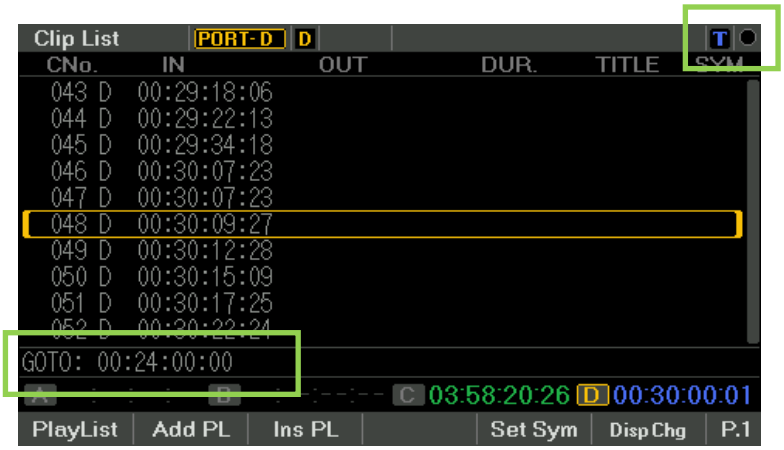
Enable　：CUE カーソル移動時 CUE UP 動作を行います。

CUE の呼び出し T モード

クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能　T は GOTO 機能です。

（**SFT+＊又は＊+1**）で画面切替え可能です。



テンキーでTCを入力して＃を押すと CUE UP します。

9.5 素材リスト機能（マテリアルリスト）

マテリアルリスト画面ではレコーダ内の素材一覧を読み込み表示・選択・読み出しを行う事が可能です。また収録時は自動でファイル名を付け収録を行います。

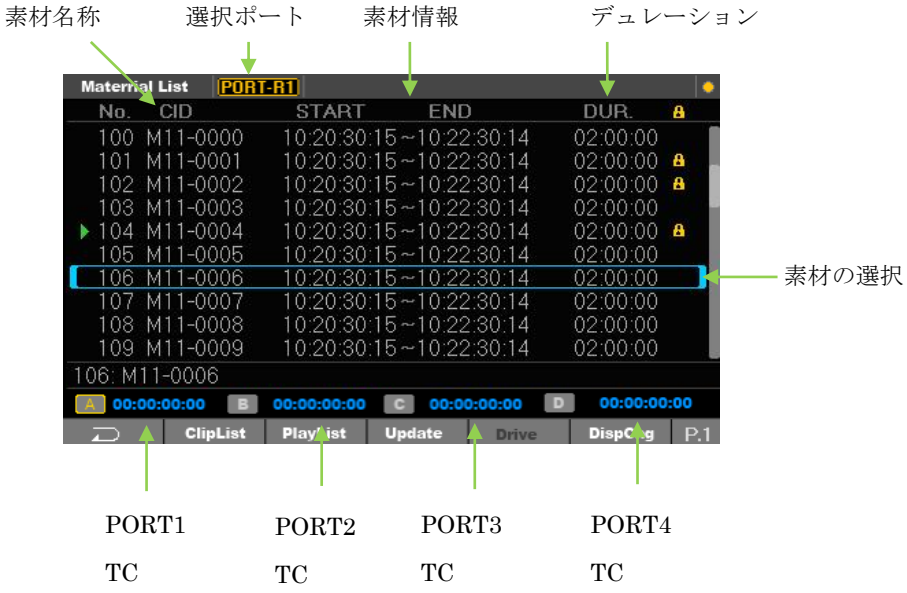
マテリアルリストの表示は2パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの DispChg（F6）で行います。

※VDCP プロトコル使用時

リストの表示件数 ： 9999件

【マテリアルリスト 素材リスト簡易モニタ画面】

【マテリアルリスト 素材リスト画面】



9.5.1 Material 操作概要

素材表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

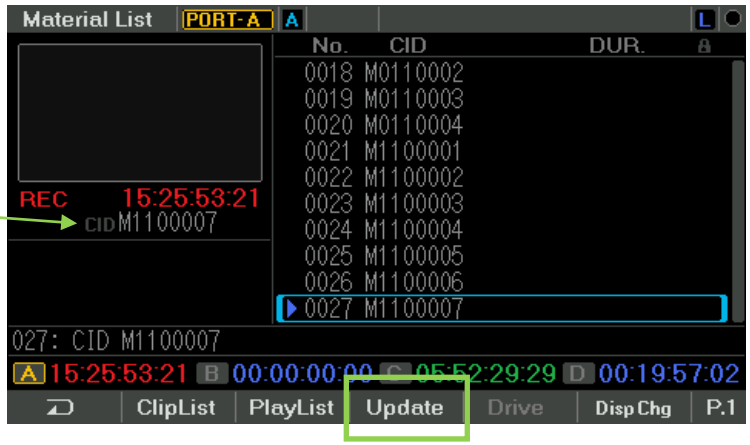
P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1		クリップリスト	プレイリスト	Update	Drive	DispChg
P.1 Shift						Monitor
P.2		Load	Protect	Info		DispChg
P.2 Shift		Unload			Delete	
P.3						
P.3 Shift					All Delete	

【クリップリスト】　クリップリスト画面に移行します。
【プレイリスト】　プレイリスト画面に移行します。
【Update】　機器の素材一覧を取得します。
【Drive 】　未対応　※SONY DISK 使用時使用予定
【DispChg】　表示画面を切り替えます。
【Monitor】　モニタ画面に切り替えます。
【Load】　選択したファイルを Load します。
【UnLoad】　未対応　※選択したファイルを UnLoad します。
【Protect】　未対応　※選択したファイルを Protect します。
【Info】　未対応　※選択したファイルj情報を表示 します。
【Delete】　素材を削除します。
【AllDelete】　全ての素材を削除します。（非対応）

9.5.2 素材の呼び出し

素材エリアでは対象機器のファイル情報の一覧の取得が可能です。

LOAD された素材



Update ボタンを押すと、ファイルの一覧を取得します。

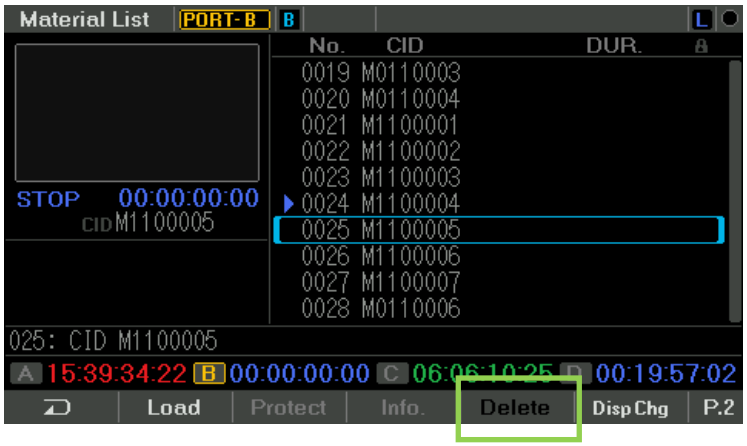
上下▲又は JOG ダイアル（SFT+上下▲)でファイルを選択し、CUE UP を行って下さい。

CUE UP は **左矢印キー** 又は P2 ページの **Load(F2)**ボタンで可能です。

※素材リスト画面の青色三角マークは、ロード中ファイルです。

9.5.3 素材の削除

素材エリアでは対象機器のファイルの削除が可能です。



マテリアルリスト内の **P2** の **Delete** を押すと、削除確認メッセージが表示され削除を行う事が可能です。

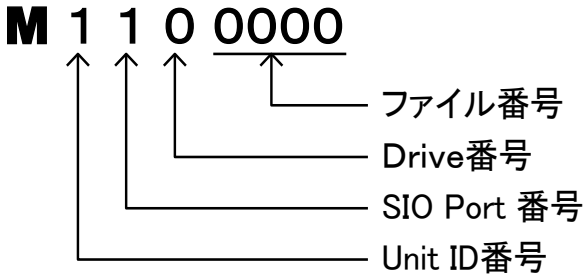
9.5.4 収録時のファイル名称について

録画時にファイル名称を発行して収録を行います。

ファイル名は、”M1100000”の様なファイル名が作成されます。

REC、STOPを繰り返すたびに、ファイルを作成しますので、ファイル名は”M1100001””M1100002”のように下四桁が変わっていきます。0000～9999までファイル番号が作成されます。9999を過ぎると、ファイル名は、0000から作成されます。

ファイル名の意味合いを下記に説明します。



9.6 カップリング機能

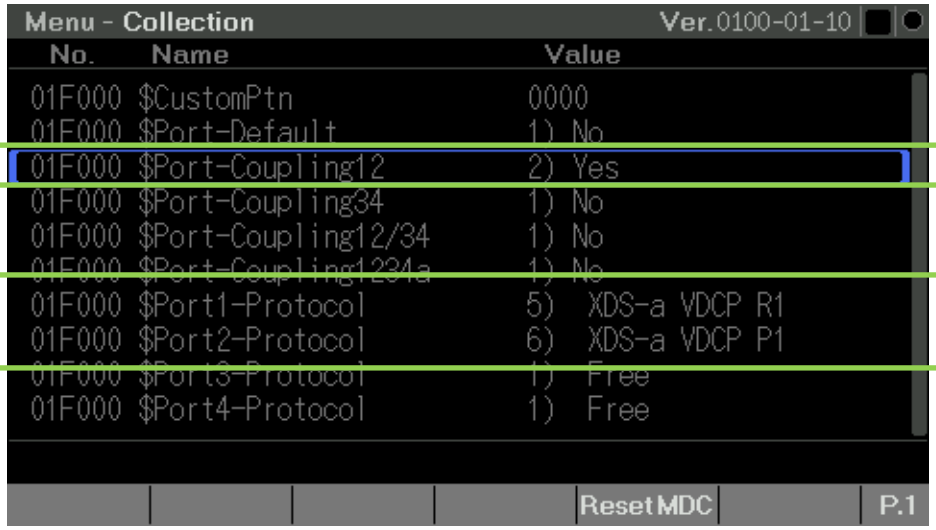
カップリング機能とは、メモリーレコーダ／ディスクレコーダ等で収録を行いながら再生する事が可能な機器に対して、行う制御です。

収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、2ポートを意識する事無くご使用頂けます。

※ 対象機器との接続は2ポート使用します。(REC ポート／PLAY ポート)

9.6.1 カップリング機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。

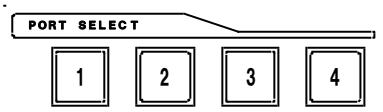


使用ポートと対象機器を選択し、- + で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.6.2 カップリング機能の操作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが 2 か所点灯します、



点滅 ・・・ コントロール可能ポート及びリスト等の操作対象ポート（マスターポート）

点灯 ・・・コントロール可能ポート（マスターポート と カップリング されているポート）リストへの CUE 点登録は、点滅しているポート(マスターポート）の TC が登録されます。点滅しているポートが収録側ポートであれば、収録側 TC で CUE 点登録されます。点滅しているポートが再生側ポートであれば、再生側 TC で CUE 点登録されます。

9.7 パラ制御機能

パラ制御機能とは、ポート選択ボタンで選択されたポートを同時に制御します。

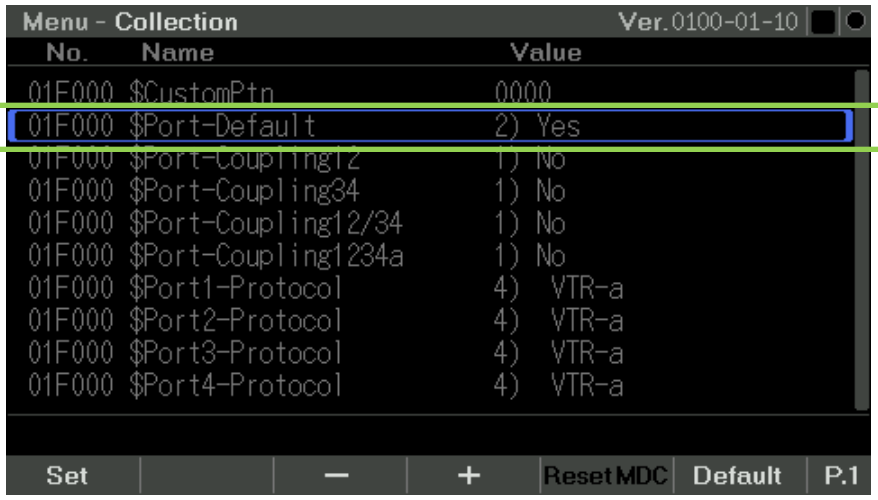
※ Refに同期して同時にコマンドを出す機能で調相制御は行っていません。

※ 対象機器により、JOG／SHTL 制御時は TC がずれる可能性があります。

9.7.1 パラ制御機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。

※本設定を行う前に **ALLDefault** を行うとより確実に設定が反映されます。

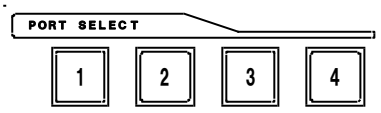


使用ポートを **Default** にするとパラ制御が可能です。

対象機器を選択し、− + で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.7.2 パラ制御機能の操作



【Defult】

1～4の SW 選択で切替ります。

複数ポートを同時制御する時は、**SFT+制御ポート**で選択可能です。

9.7.3 パラ制御の CUE UP 方法

複数台同時再生時、クリップの登録を行うと、各ポート　毎にクリップ点を登録します。
PORT　SELECT ボタンが点滅しているポートのクリップリストが表示します。
又 CUE 点の登録エリアを変更する事により、PORT１で登録した CUE 点を PORT２で CUE UP する事も可能です。

【CUE 点の登録エリア】（工場出荷）
＜関連メニュー＞

02F000	Port1−クリップリスト Bank	1) Bank−A
02F000	Port2−クリップリスト Bank	2) Bank−B
02F000	Port3−クリップリスト Bank	3) Bank−C
02F000	Port4−クリップリスト Bank	4) Bank−D

【CUE 点の登録エリア】（Port1 で登録した CUE 点で PORT2.3.4 を CUE　UP）
＜関連メニュー＞

02F000	Port1−クリップリスト Bank	1) Bank−A
02F000	Port2−クリップリスト Bank	1) Bank−A
02F000	Port3−クリップリスト Bank	1) Bank−A
02F000	Port4−クリップリスト Bank	1) Bank−A

9.7.4 パラ制御同期画面

複数台同時再生時、対象機器に同じ TC を入れて頂き、マスターTC に同期して動作する画面です。

TimeBackData・・・・

9.8 連続再生(プレイリスト)機能

クリップリストで作成したクリップをプレイリストに並べる事により連続再生する機能です。

※VDCP プロトコル使用時

登録可能数　300件

9.8.1 プレイリスト画面の説明

プレイリストは下記の画面より選択可能です。

【プレイリスト 簡易モニタ画面】

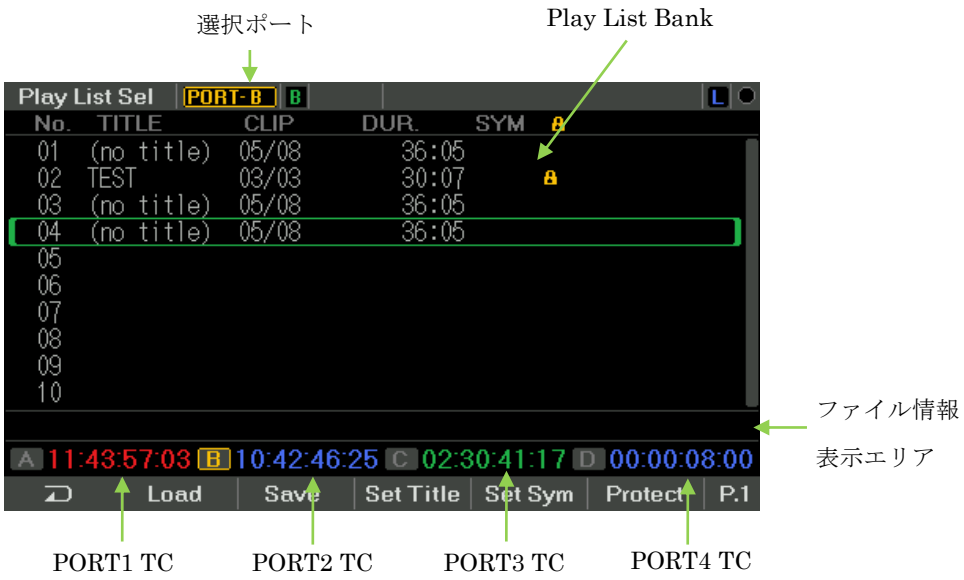
【プレイリスト 詳細画面】

【クリップ&プレイリスト クリップ操作画面】

【クリップ&プレイリスト　プレイリスト操作画面】

【プレイリスト Sel 画面】

プレイリストの保存を行う画面です。



9.8.2 プレイリストの操作概要

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	クリップリスト	PL-Sel	Set-Start	Set-End	SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L		ON/OFF	Loop		Monitor
P.2	クリップリスト		Copy	Paste		DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3						
P.3 Shift					All Delete	
P4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

【クリップリスト】クリップリスト画面に移行します。

【Material-L】 Material 画面に移行します。

【PL-Sel】 プレイリスト Sel 画面に移行します。

【Set-Start】 プレイリストの Start 点を指定します。

【Set-End】 プレイリストの END 点を指定します。

【SetSym】 SYM シンボル登録が可能です。

【DispChg】 表示画面を切り替えます。

【ON/OFF】 連続再生するクリップの ON/OFF です。

【Loop】 Loop 再生を指定します。

【Copy】 プレイリストのコピーを行います。

【Paste】 プレイリストのペーストを行います。

【Delete】 プレイリスト内クリップの削除を行います。

【All Delete】 プレイリスト内全てのクリップの削除を行います。

【Preroll-*】 Preroll 値を SET します。

【Postroll-*】 Postroll 値を SET します。

9.8.3　連続再生操作

連続再生制御機能とはIN点とOUT点を登録したクリップを連続で再生を行う機能です。

※ 本機能は、VDCPプロトコル設定時のみ使用可能です。

※ 本機能は対象機器によりクリップの最小 Duration を変更する必要があります。

＜関連メニュー＞

3F0000　VDCP:クリップ MinDuration

90frame

クリップリストとプレイリストの切替

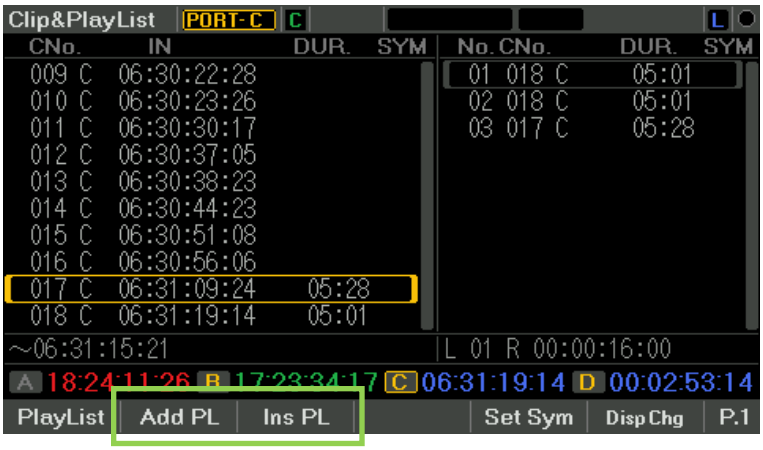
クリップリストとプレイリストの切替えは **PlayList(F1)**と **DispChg(F6)**で切替える事が可能です。

クリップの登録

クリップの登録は「クリップリスト画面」より **AddPL(F2)**又は **InsPL(F3)**で行うか、

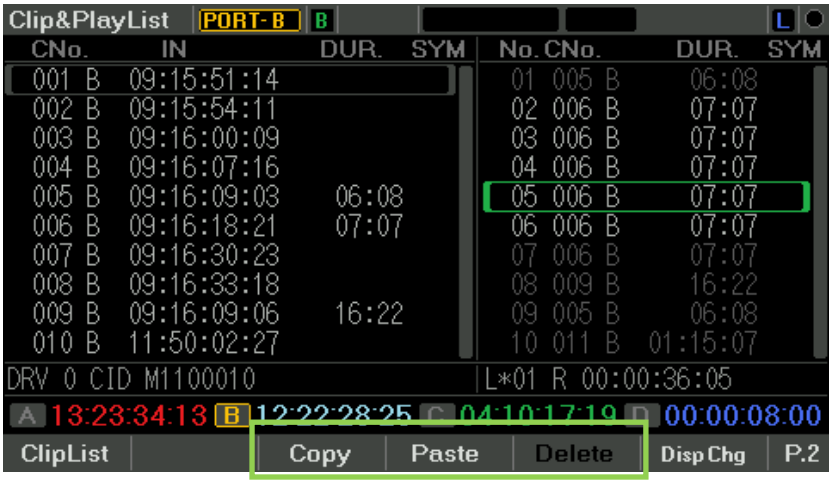
「クリップ&プレイリスト画面」より **AddPL(F2)**又は **InsPL(F3)**で行います。

※登録可能なクリップの最小 Dulation は3秒です。（デバイスに依存します）



プレイリストに登録したクリップの編集

プレイリストに登録したクリップはコピペ及び削除が可能です。



選択したクリップを移動する時は、**Delete(SFT+F5)**を行い。

移動先に **Paste** して下さい。

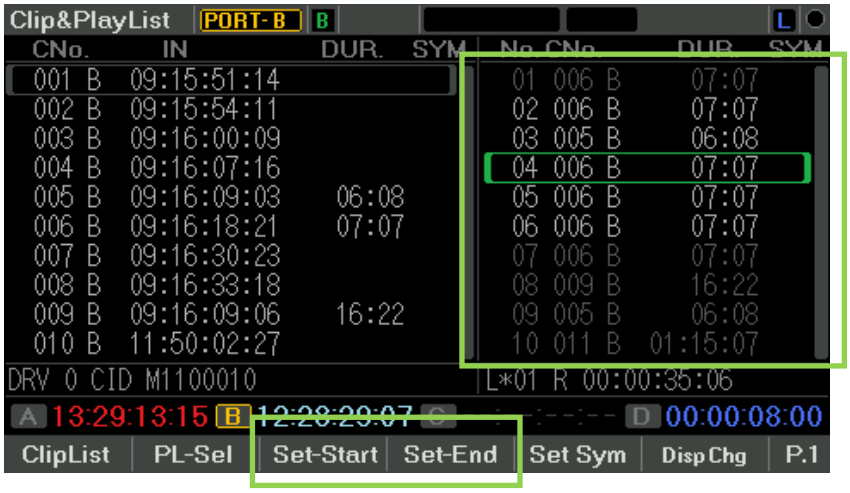
登録したクリップはトリミング可能です。

クリップを選択し、**左右▲**で CUE UP を行い JOG ダイアル操作で画像を選び

SFT+IN / **SFT+OUT** で再登録可能です。

プレイリストの再生範囲の指定と Loop 設定

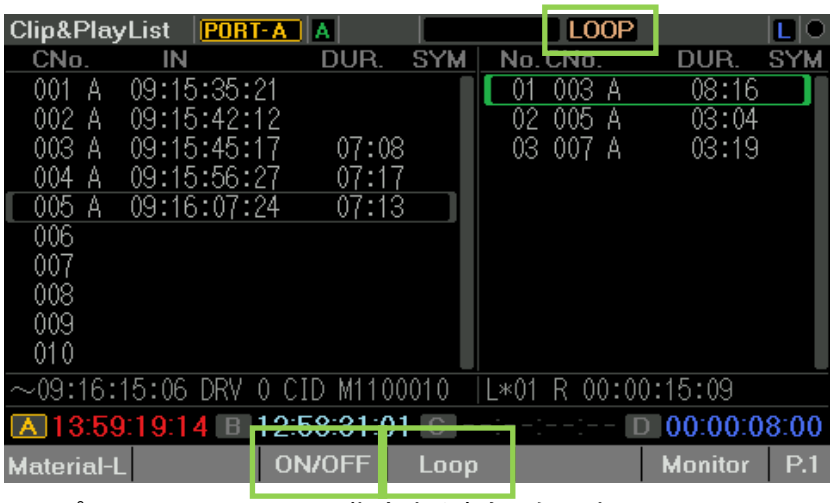
プレイリスト内で再生範囲を指定して連続再生を行う事が可能です。



プレイリストで白い部分が連続再生可能です。

Set-Start(F3) と **Set-End(F4)** で指定を行う事が可能です。

P1 表示の時、**SFT ボタン**を押す事で個別に **ON/OFF** する事も可能です。



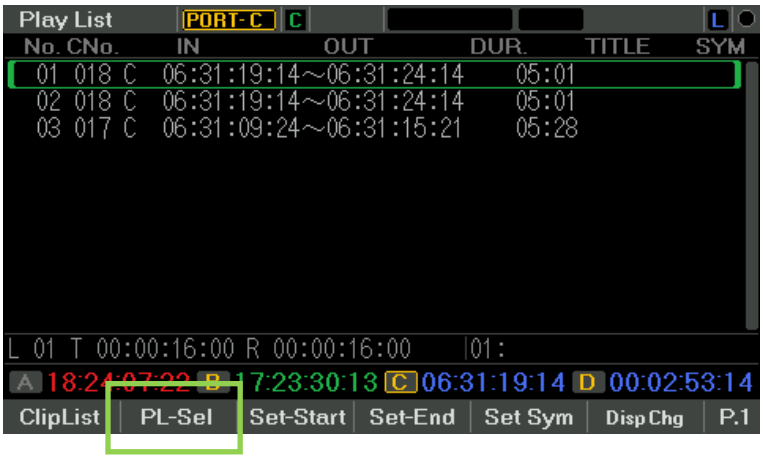
又、プレイリストでは、LOOP 指定する事も可能です。

プレイリストの再生

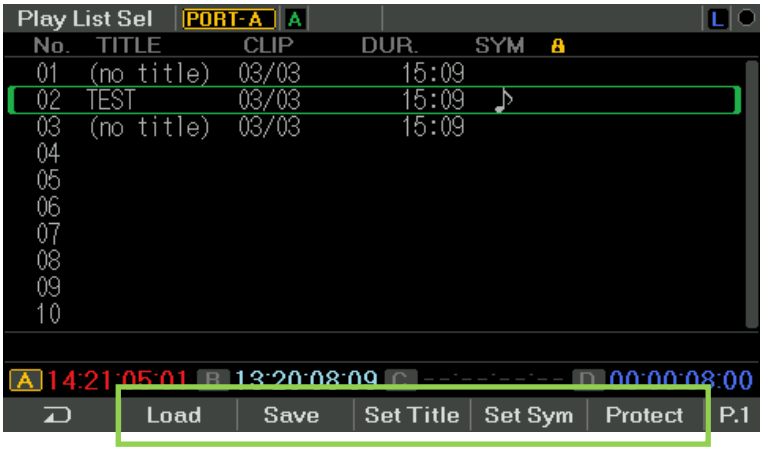
連続再生を開始するには、開始ファイルを選択して CUE UP(左▲)します。
プレイリスト画面の緑色三角マークは、連続再生可のスタンバイ状態と、実行中クリップを示すものです。この三角マーク表示中は、”F-PLAY” ボタンも点滅（スタンバイ状態の意）します。
任意の有効クリップ位置で左矢印キーで（Preroll を含めた）Cueup をさせると
スタンバイ状態になります。
CUE UP が完了すると、クリップの左側に黄色の▲が表示されます。
F-PLAY ボタンで連続再生を開始します。

9.8.4　プレイリストの登録

作成したプレイリストは登録しておく事が可能です。



プレイリスト画面より PL-Sel を選択すると「プレイリスト Sel」画面に入ります。



プレイリストを登録したい場所にカーソルを移動して

SAVE を行うとプレイリストの登録が可能です。

登録した List には、タイトルやシンボルを付ける事が可能です。

又、必要に応じて Protect を行う事が可能です。

9.9 VTR 簡易編集機能

編集画面を使用すると 2 台の VTR を使用して編集を行うことが可能です。

※編集機能使用時は必ず REF を入力して下さい。

簡易編集は、SimpleEdit 画面で行います。

【ファンクション表示エリア（機能概要）】

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Preview	AutoEdit	Review			DispChg
P.1 +Shift		AutoEdit				Monitor
P.2	Asm	Video	DA1	DA2	DA3	DA4
P.2 Shift						
P.3	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.3 +Shift						
P.4	TC	CTL	CTL-Reset			
P.4 +Shift	TC	CTL				

【Preview】　編集のプレビュー動作を行います。

【AutoEdit】　SFT+F1 で編集を開始します。

【Review】　編集結果を確認します。

【Asm/Video/DA1/DA2/DA3/DA4】　編集画面に応じて選択します。

Asm　:アッセンブル画面で動作します。

Video／DA1／DA2／DA3／DA4

【Preroll-*/Postroll-*】

Preroll-1（3 秒）/ Preroll-2（5 秒）/ Preroll-3（7 秒）

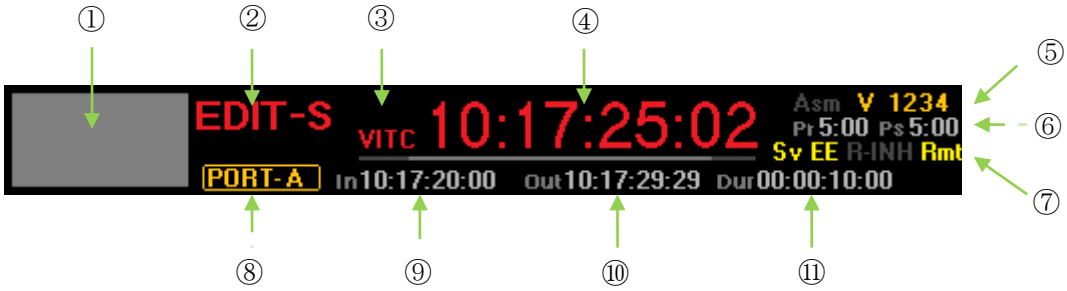
Postroll-1（3 秒）/ Postroll-2（5 秒）/ Postroll-3(7 秒)

※Preroll 時間はメニューで設定可能です。(編集を行う時は3秒以上確保して下さい)

【TC/CTL】　編集タイムコードを選択します。

【CTL-Reset】　編集タイムコードが CTL の時、リセットします。

■ステータス表示エリアの説明



① 簡易画像表示

※IN1～IN4 にアナログビデオ信号を入力すると表示されます。

② VTR ステータス表示部

③ VTR TC 表示部

④ タイムコード表示部

※VTRの状態により色が変わります。

STOP（青） PLAY(緑) REC(赤) SHUTTLE/VAR(水色)

⑤ 編集画面の選択

Asm ： アッセンブル選択時“黄”になります。

V/DA1/DA2/DA3/DA4 ： インサート選択時“黄”になります。

⑥ プリロール・ポルトロール時間の表示

Pr ： Preroll 時間を表示します。

Ps ： Postroll 時間を表示します。

⑦ VTR の状態表示

Sv ： VTRがサーボロック状態の時、“黄”になります。

EE ： VTRがEE状態の時“黄”になります。

R-Inhi ：テープが書き込み禁止状態の時、“赤”になります。（優先）

本装置で書き込み禁止状態の時“青”になります。

Rmt ：VTR がリモート制御可能な時”黄“になります。

⑧ ポート選択表示

ポート選択ボタンに連動して動作します。動作可能なポートが“黄”表示します。

⑨ IN 点タイムコード表示

⑩ OUT 点タイムコード表示

⑪ デュレーション表示

■ 編集のご注意

1）アッセンブル編集の注意

・アッセンブル編集は CTL で行って下さい。

・最初の編集を開始する点に、あらかじめ CTL 信号をプリロール時間より長く記録しておいて下さい。

・アッセンブル編集をすると、OUT 点で信号が不連続になり画像が乱れる事があります。

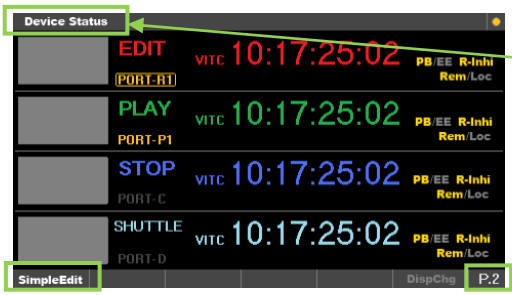
※TC でアッセンブル編集を行ないたい場合は予め連続した TC が記録してある必要があります。VTR の TC 設定を INT／REC RUN／REGEN に設定して下さい。

2）インサート編集の注意

・インサート編集する部分には、CTL 信号又は TC 信号が連続して記録されていないと編集が実行出来ません。

9.9.1 編集操作

VTR2台での編集操作手順例を記載します。



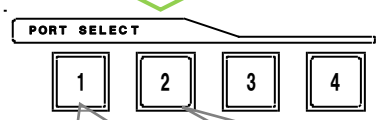
Dvice Status 画面のファンクション表示エリアで P2 を選択して SimpleEdit 画面を選択します。

Recoderポートを選択し、SimpleEdit 画面のファンクション表示エリア P2 で、編集画面選択します。

同様にファンクション表示エリア P3 で Preroll/Postroll の設定を行います。
※設定は Recoder ポート・Player ポート同じ設定にして下さい。

Port Select キー 1 で RECORDER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。

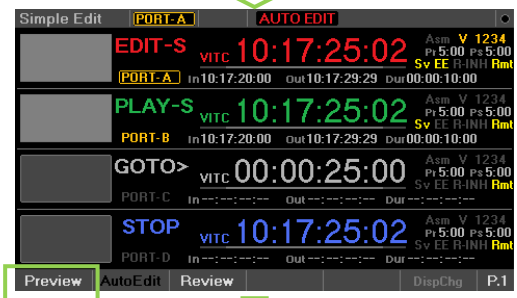
Port Select キー２で PLAYER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。



1)点滅は Recoder を意味します。

2)SFT を押しながら選択します。

Port1 を選択し、次に SFT+Port2 を選択し、Recoder と Player 2 個を点灯させます。



Preview を選択し編集のリハーサルを行います。
※同期制御は自動で行います。が、VTR の状態によりリトライ動作する事があります。

AutoEdit を選択し編集を行います。

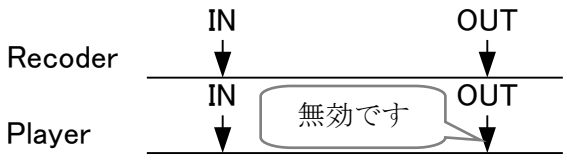
SFT を押しながら選択します。

Review を選択し編集の確認を行います。

9.9.2　編集TCについて

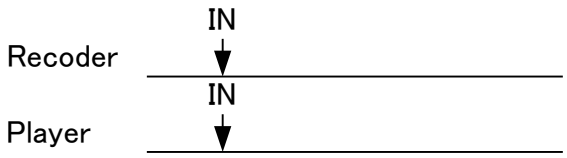
簡易編集では、収録側TCと再生側TCは下記の動作となります。

1）収録側IN／OUT 点と再生側 IN/OUT 点が同じ時



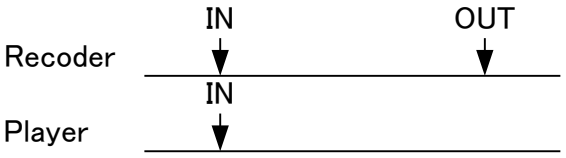
【動作詳細】
Recoder の IN/OUT 点を基準に動作します。

2）収録側IN点と再生側 IN 点が設定されている時



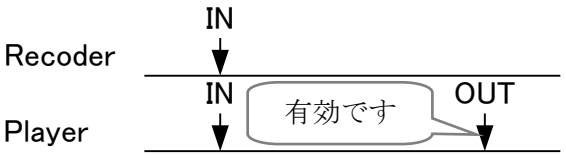
【動作詳細】
オープンエンドで記録します。

3）収録側IN/OUT 点と再生側 IN 点が設定されている時



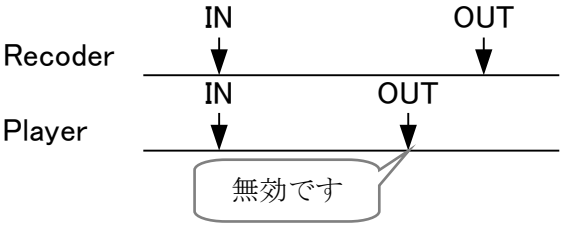
【動作詳細】
Recoder 側の OUT 点を基準にして編集が行われます。

4）収録側IN点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時



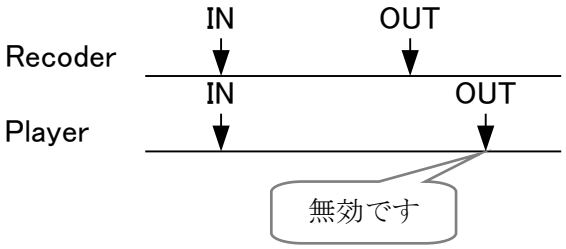
【動作詳細】
Player 側 OUT 点を使用して編集が行われます。

5）収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(収録側が長い)



【動作詳細】
Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

6）収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(再生側が長い)



【動作詳細】
Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

9.9.3　編集システム設定

簡易編集を行うには、対象機器毎にパラメータの変更が必要です。

1)　編集パラメータの設定方法

調整パラメータは MENU の SIO 内で設定を行います。

3F0000　V:EditIn-Timing（Def　5frame）

→編集 IN 点の調整を行います。

3F0000　V:Editoff-Timing（Def 5frame）

→編集 OUT 点の調整を行います。

3F0000　V:EditInt-CtlTiming(Def 0)及び V:EditOff-CtlTiming(Def 0)

→TC 編集と CTL 編集が混在する時に設定を行います。

※Port1～4切替えて設定を行います。

【Edit　タイミングの調整手順】

1）TC 編集を行います。

2）編集結果を確認し、IN 点が進んでいる時は V:EditIn-Timing の設定値を小さくします。

3）編集結果を確認し、OUT 点が進んでいる時は V:EditOff-Timing の設定値を小さくします。

4）上記を数回繰り返し、編集結果にずれが無い事を確認して下さい。

5）CTL 編集を行います。

6）編集結果を確認して、ずれが発生した場合は2)と3)と同様 V:EditInt-CtlTiming と V:EditOff-CtlTiming を設定して下さい。

※デフォルト値 0 は TC での設定値が反映されます。0 以外の値を入れると CTL は独立したタイミング値で設定されます。

【参考パラメータ】

■HDW-M2000　のパラメータ値（Recoder/Player 共通）

3F0000	V:EditIn-Timing（Def　5frame）	=	6frame
3F0000	V:EditOff-Timing（Def 5frame）	=	5frame
3F0000	V:EditInt-CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame
3F0000	V:EditOff-CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame

■DSR-80　のパラメータ値（Recoder/Player 共通）

3F0000	V:EditIn-Timing（Def　5frame）	=	3frame
3F0000	V:EditOff-Timing（Def 5frame）	=	2frame
3F0000	V:EditInt-CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame
3F0000	V:EditOff-CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame

2） DF/NDF の設定方法

DF/NDF の設定は MENU の SIO 内で設定を行います。

3F0000　　FrameFormat　　1)NTSC-DF(Def)　2)NTSC-NDF　3)PAL

デフォルトでは DF の設定になっています。

システムに合わせてご使用下さい。

※ポート毎に設定が可能ですが混在した編集は行えません。

9.10 キーアサイン変更機能

Time Back Data・・・

9.11 GPI 機能

GPI を使用するには、下記の設定を行って下さい。

MENU 設定（SIO メニュー内で PORT 毎に設定可能です）

Bit 列を1にすると有効になります。

※Bit 列は OOOOOOOO ＝ IN7 IN6 IN5 IN4 IN3 IN2 IN1 IN0 となります。

設定は使用するポート毎に切替えて行って下さい。

No	Menu	Bit 列	機能
03F000	GPI:Eject-C	OOOOOOOO	EJECT します。
03F000	GPI:StbyOff-C	OOOOOOOO	STANDBY OFFします。
03F000	GPI:StbyOn-C	OOOOOOOO	STANDBY ONします。
03F000	GPI:Stop-C	OOOOOOOO	STOP します。
03F000	GPI:Still-C	OOOOOOOO	STILL します。
03F000	GPI:Rec-C	OOOOOOOO	REC します。
03F000	GPI:Play-C	OOOOOOOO	PLAY します。
03F000	GPI:FF-C	OOOOOOOO	F.FWD します。
03F000	GPI:Rew-C	OOOOOOOO	REWIND します。
03F000	GPI:Rem-S	OOOOOOOO	REMOTE 時 ON します。
03F000	GPI:Tape-S	OOOOOOOO	テープが装着されている時 ON します。
03F000	GPI:StbyOn-S	OOOOOOOO	STNDBY ON 時 ON します。
03F000	GPI:Stop-S	OOOOOOOO	STOP 時 ON します。
03F000	GPI:Still-S	OOOOOOOO	STILL 時 ON します。
03F000	GPI:Rec-S	OOOOOOOO	REC 時 ON します。
03F000	GPI:Play-S	OOOOOOOO	PLAY 時 ON します。
03F000	GPI:Fwd-S	OOOOOOOO	FWD 時 ON します。
03F000	GPI:FF-S	OOOOOOOO	F.FWD 時 ON します。
03F000	GPI:Rew-S	OOOOOOOO	REW 時 ON します。

※Bit 列の設定は同じビット内で機能が重複しない様に設定を行って下さい。

9.12 MENU 操作

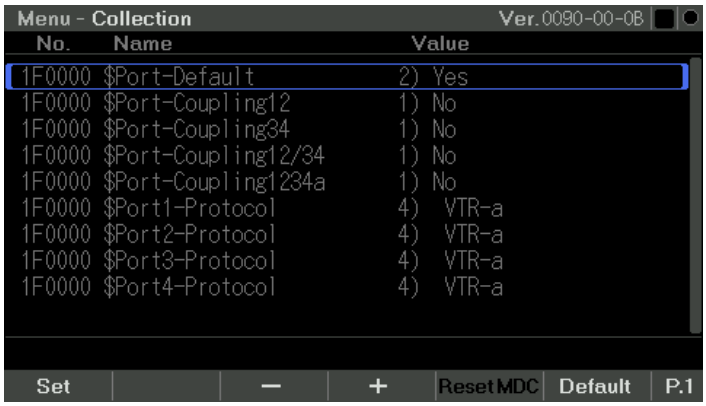
メニューでは下記の事を行う事が可能です。

Collection 機能　:Console/Sio を簡単に設定する機能です。

Console　:SW の動作の変更を行う事が可能です。

Sio　　:ポート毎の設定が可能です。

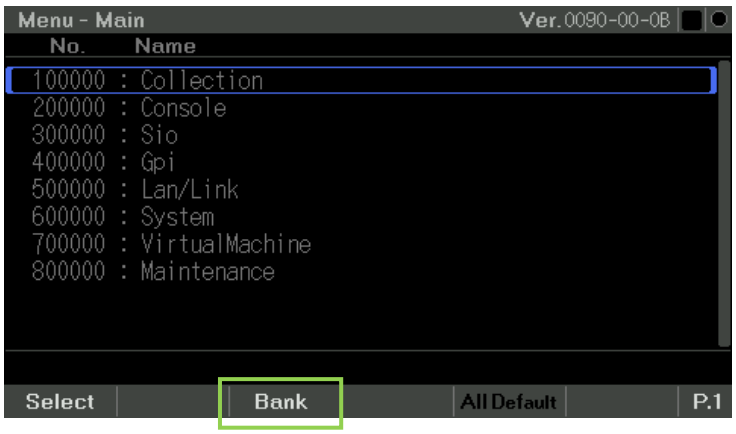
System　:Ststem 設定が可能です。



設定は上下▲と＋(F4)－(F3)キーで選択を行い Set(F1)キーで登録を行います。

9.13 MENU のバンク設定

Console で操作方法等の設定を行った内容はバンクに保存、読み出しをすることが可能です。　最大保存数　99



又、設定情報を USB メモリに保存しておく事も可能です。

9.14 バージョンアップ機能

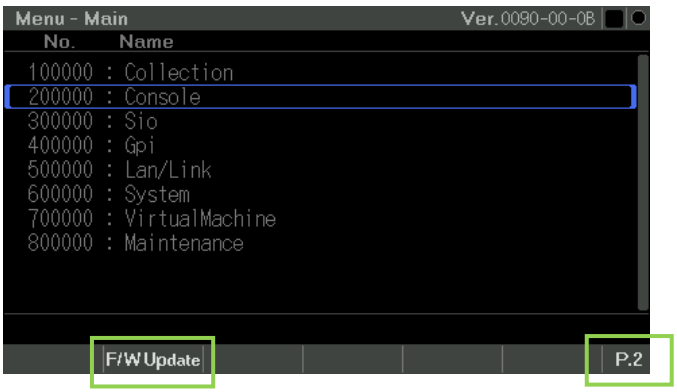
ソフトウェアは、ホームページよりダウンロードを行い。
アップデートする事が可能です。
http://www.musashi-kk.co.jp/

アップデートの準備

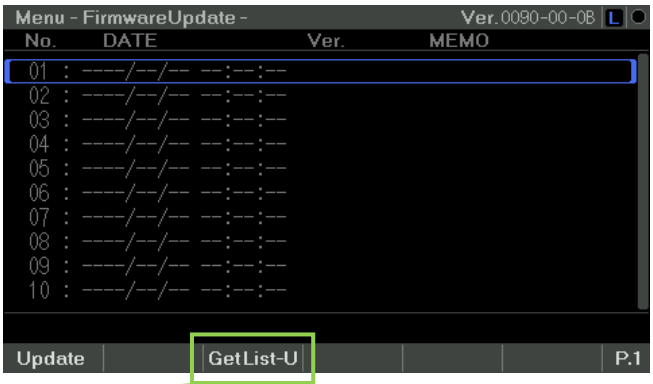
1） ダウンロードしたファイルを USB メモリに保存して下さい。
2） MDC-70 背面の USB コネクタに接続します。

アップデート操作

1） MENU 画面より P2 内の F/WUpdate（F2）を選択します。



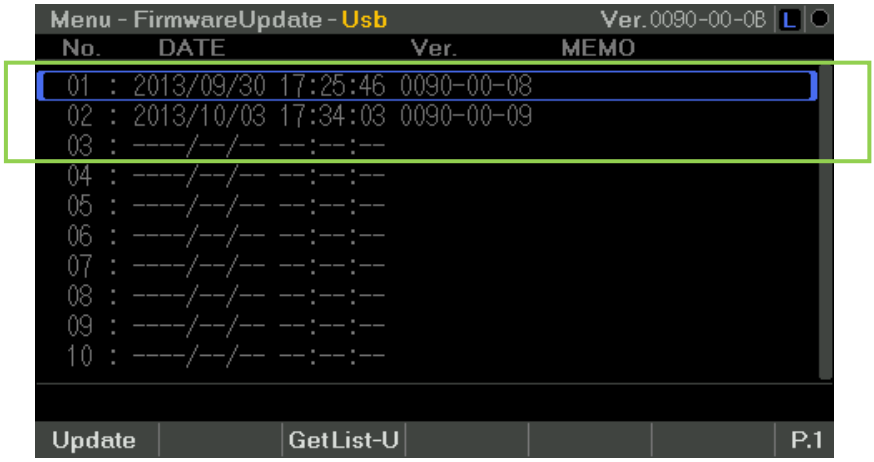
2）内蔵メモリの保存領域が表示されます。



3）GetList-U を選択すると、USB メモリの有無及びアップデート
ファイルの確認を行います。

4）アップデート可能なファイルが確認されると

下記の様に Ver 番号が表示されます。



上下▲でファイルを選択して **Update（F1）キー**を押します。

確認メッセージが表示されるので **Yes** を選択して下さい。

ソフトのアップデートが開始されます。

“Program update completion.”メッセージが出たらアップデート終了です。

メッセージに従い Yes を選択して下さい。選択後は自動でリブートします。

アップデート作業の注意事項！

1） Program update には**10分程度**時間がかかります。

2） Program update 中は**電源を切らないで下さい。**

※アップデート途中で電源を切断すると起動出来なくなる可能性があります。

3） Program update 後は必要に応じ、再設定を行う可能性があります。

※アップデート情報を参照して下さい。

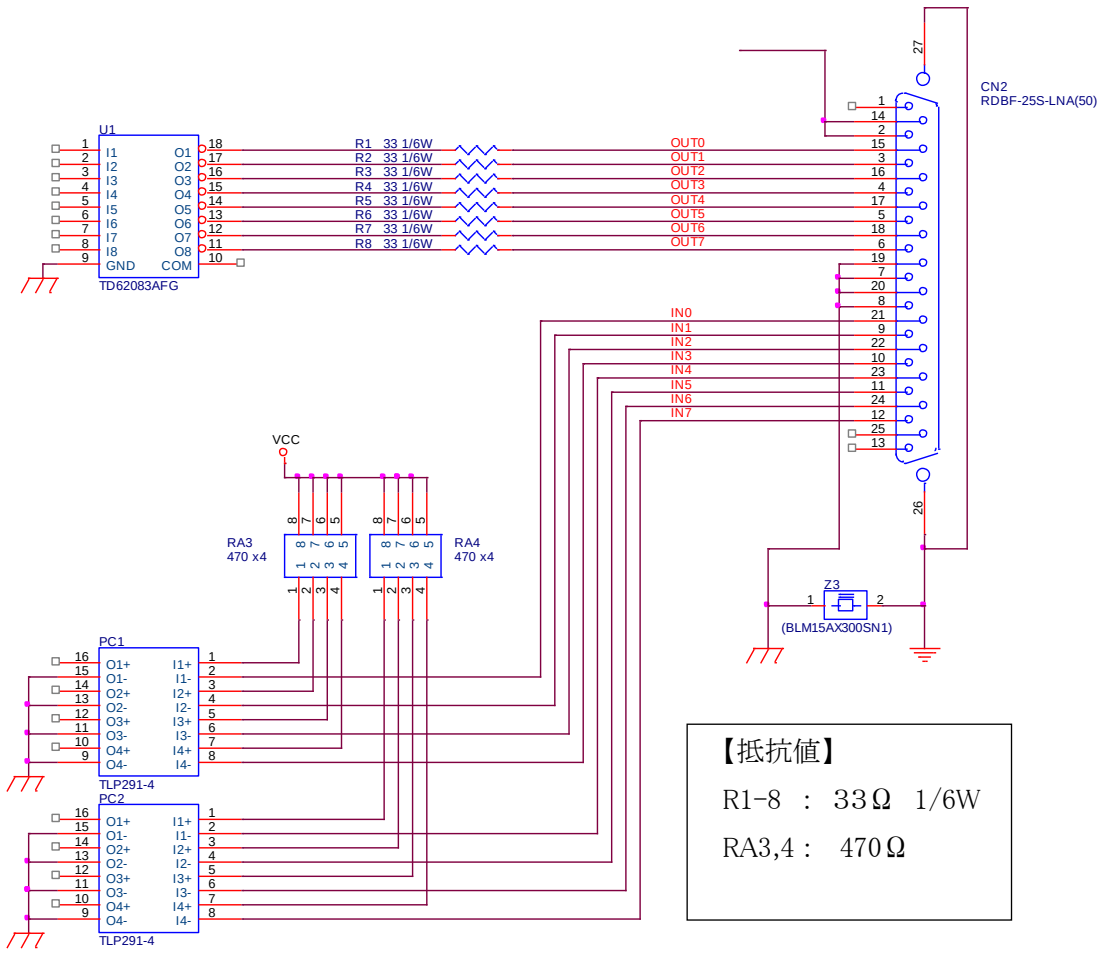
10.コネクタ仕様

【コネクタ仕様】

項目	仕様
RS-422 (Dsub9Pin)	4系統
GPI (Dsub25Pin)	入出力8系統の動作を設定する事が可能
LAN	EtherNet 10/100base 2 系統 ストレート・クロスケーブル自動判別（Auto MDIX）
LINK	IEEE1394
REF	BNC コネクタ　同期信号入力です。 NTSC/PAL 信号の 2 値 SYNC/3 値 SYNC に対応しています。

【GPI コネクタ電気的仕様】

GPI ドライバー部の回路図です。



下記設定可能箇所は、メニューで機能変更が可能です。

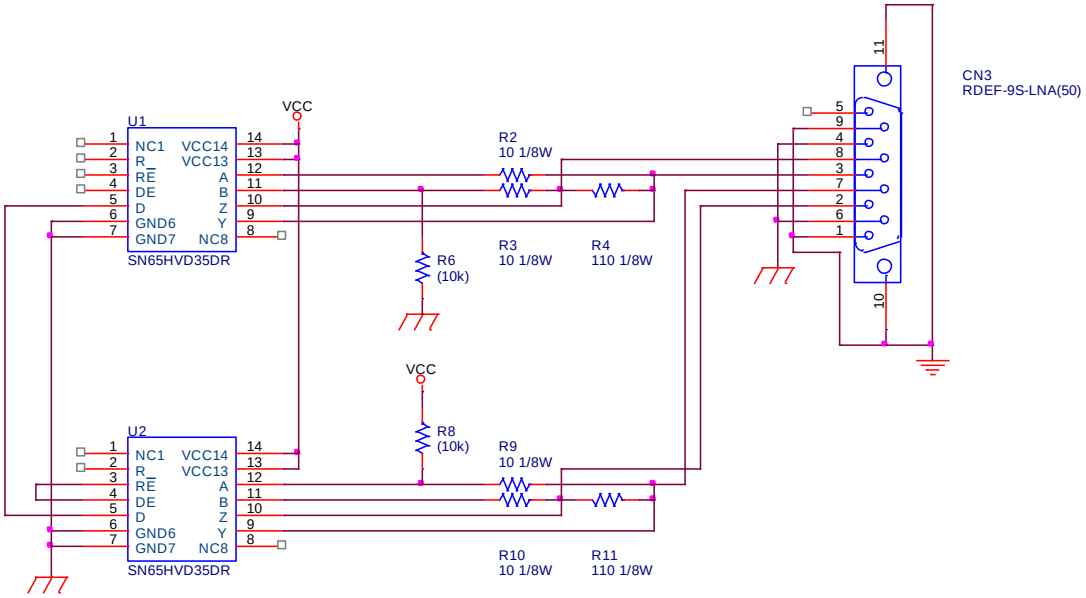
D-SUB 25PIN メス座(ミリネジ)

GIP IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	設定可能
4	OUT3	設定可能
5	OUT5	設定可能
6	OUT7	設定可能
7	GND	
8	GND	
9	IN1	設定可能
10	IN3	設定可能
11	IN5	設定可能
12	IN7	設定可能
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	設定可能
16	OUT2	設定可能
17	OUT4	設定可能
18	OUT6	設定可能
19	GND	
20	GND	
21	IN0	設定可能
22	IN2	設定可能
23	IN4	設定可能
24	IN6	設定可能
25	NC	

【RS422 コネクタ電気的仕様】

RS422 ドライバー部の回路図です。

※回路上は CONTROLLER と DEVICE 対応ですが、CONTROLLER のみで使用可能です。



D-SUB 9PIN メス座(ミリネジ)

	名 称	動 作
1	FG	フレーム GND
2	REM RX－	RS－422信号レベル(平衡－)
3	REM TX＋	RS－422信号レベル(平衡＋)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	REM RX＋	RS－422信号レベル(平衡＋)
8	REM TX－	RS－422信号レベル(平衡－)
9	FG	フレーム GND

11.一般仕様

【一般仕様】

項目	仕様
寸法	180(w) x 260(D) x 90 奥～約 44 手前(H)
質量	約 2.5Kg
消費電力	約 12W
電源	ACアダプタ使用 100-240V 1.1A 50-60Hz
動作温・湿度	0℃～40℃ 10%～85%RH 但し結露なきこと
保存温・湿度	-10℃～60℃ 10%～95%RH 但し結露なきこと
Rohs対応	Rohs 対応部品を使用して製造しています

12.通信仕様

【通信信号】

・EIA RS-422A 準拠

・全二重通信チャンネル

・回線速度 ： 38,400 bps

・ビット構成

START BIT + 8 DATA BITS + ODD PARITY BIT + STOP BIT

START BIT	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	ODD PARITY	STOP BIT

・コマンド ブロック フォーマット

通信は下記のフォーマットで行っています。

CMD-1	DATA COUNT	CMD-2	DATA-1	DATA-2		DATA-15	CHECK SUM
MDS LSD 1 BYTE		1 BYTE	0～15 BYTE				1 BYTE

【対応プロトコル】

・SONY VTR プロトコル :通常のVTRを制御するプロトコルです。

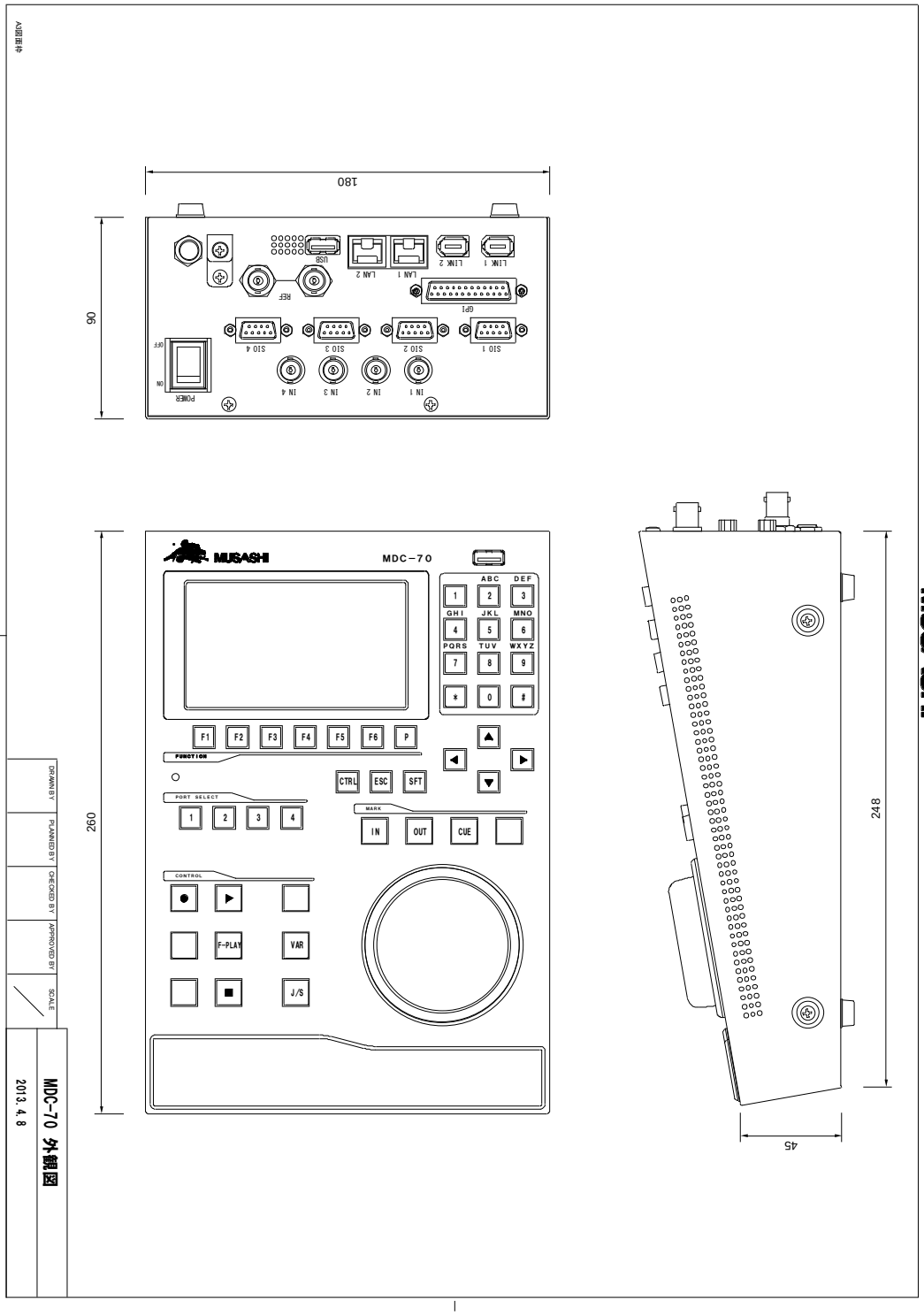
・SDisk プロトコル :ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

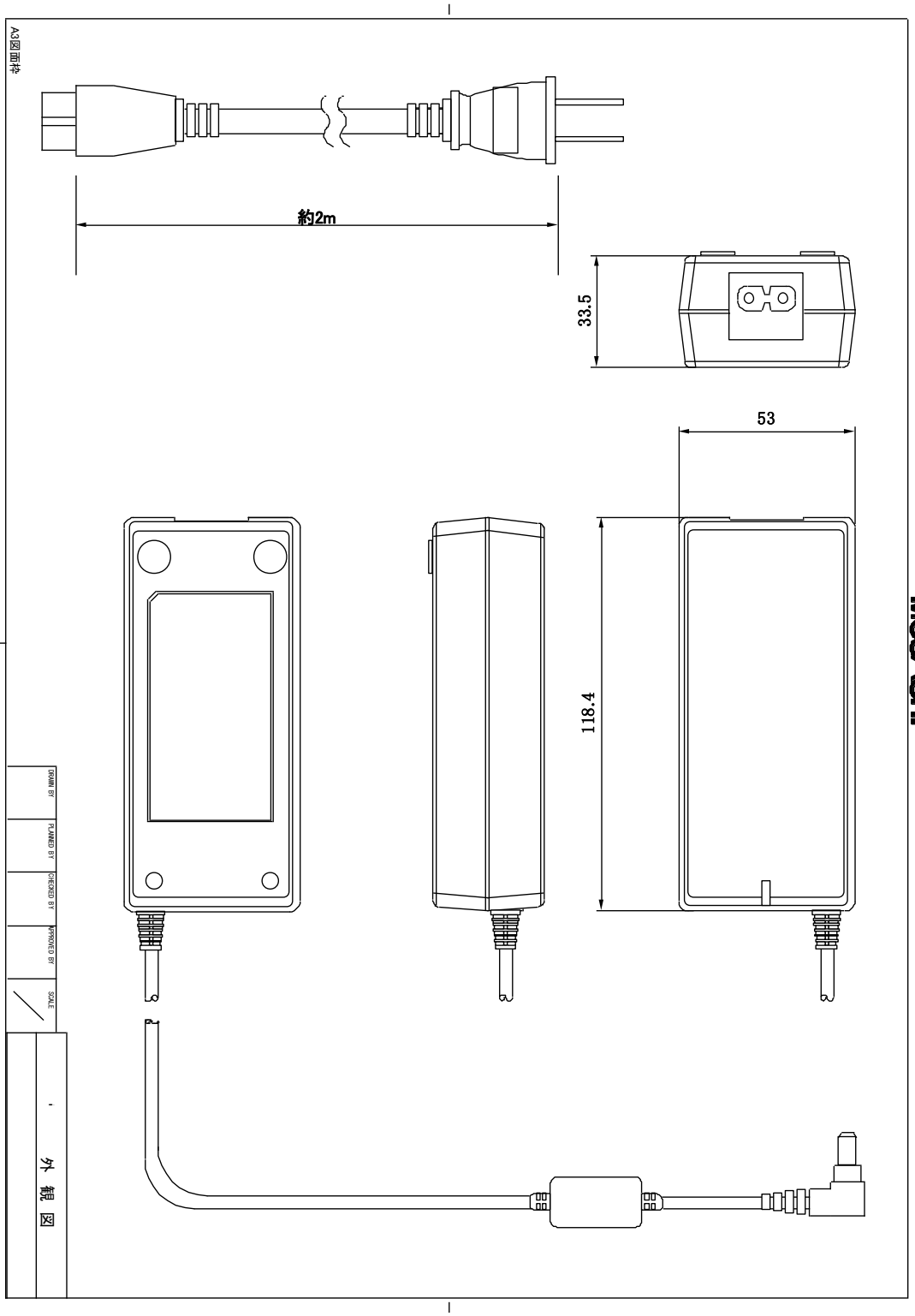
・VDCP プロトコル :ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

・Odtics プロトコル :ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

※ファイル管理を行うプロトコルは、機器により制御手順及びTCの取扱に相違がある為、プロトコル対応機器でも動作しない事があります。

13.外観


180
90
260
248
45
MUSASHI
MDC-70
F1
F2
F3
F4
F5
F6
P
CTRL
ESC
SFT
IN
OUT
CUE
F-PLAY
VAR
J/S
MDC-70 外観図
2013. 4. 8


A3図面枠
約2m
33.5
53
118.4
MUSASHI
DRAWN BY
PLANNED BY
CHECKED BY
APPROVED BY
SCALE
外観図

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391　FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F　〒161-0033

営業時間　9:00～18:00　月曜～金曜（休祝日を除く）

URL：http://www.musashi-kk.co.jp/